

津山圏域定住自立圏 共生ビジョン

—住みやすく魅力と活力あふれる自立した圏域を目指して—

平成 2 9 年 3 月

平成 3 0 年 3 月一部改訂

平成 3 1 年 3 月一部改訂

令和 2 年 3 月一部改訂

津 山 市

目 次

第1章 はじめに

- 1 定住自立圏の名称及び構成市町・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
 - (1) 定住自立圏の名称・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
 - (2) 定住自立圏の構成市町・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- 2 津山圏域定住自立圏共生ビジョンの目的・・・・・・・・・・・・ 1
- 3 共生ビジョンの計画期間・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2

第2章 圏域の現況

- 1 地勢・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
- 2 各市町の概況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
 - (1) 津山市・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
 - (2) 鏡野町・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
 - (3) 勝央町・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
 - (4) 奈義町・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
 - (5) 久米南町・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
 - (6) 美咲町・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
- 3 人口動向と将来展望・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
 - (1) 人口の動向・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
 - (2) 昼夜間比率と通勤通学の状況・・・・・・・・・・・・ 10
 - (3) 人口の将来展望・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11
- 4 産業・雇用・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13
 - (1) 農林業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13
 - (2) 製造業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13
 - (3) 産業別従業者数・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14
 - (4) 観光・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15
- 5 医療・福祉・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 16
- 6 交通・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 16

第3章 圏域の将来像・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 18

第4章 将来像の実現に向け推進する具体的取組・・・・・・・・ 20

- 1 取組の全体像・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 20
- 2 具体的な取組内容・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 22
 - (1) 生活機能の強化に係る政策分野・・・・・・・・・・・・ 22
 - (2) 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野・・・・ 43
 - (3) 圏域マネジメント能力の効果に係る政策分野・・・・ 52

第1章 はじめに

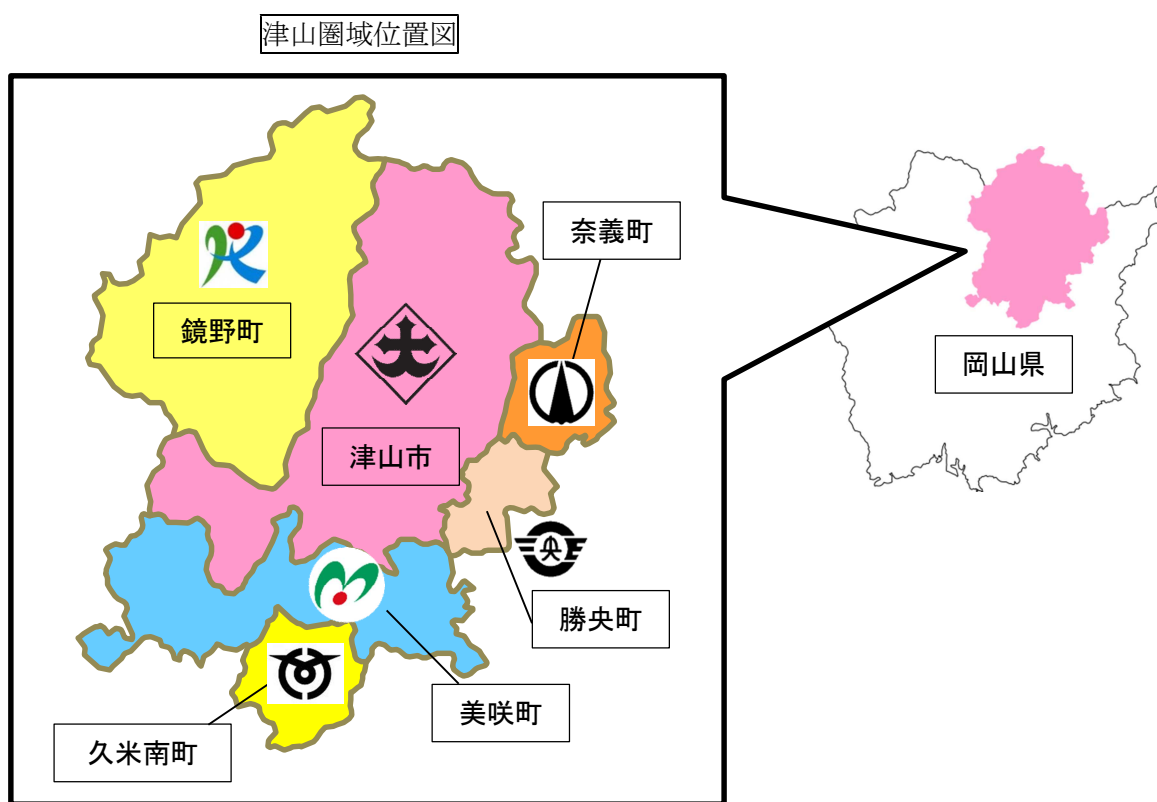
1. 定住自立圏の名称及び構成市町

(1) 定住自立圏の名称

津山圏域定住自立圏

(2) 定住自立圏の構成市町

津山市、鏡野町、勝央町、奈義町、久米南町、美咲町



2. 津山圏域定住自立圏共生ビジョンの目的

定住自立圏とは、各自治体自らのまちづくり・地域づくりに加え、国の定める定住自立圏構想推進要綱の趣旨に基づき、中心市と近隣自治体の間で、それぞれの意思による協定の締結によって形成する圏域です。

そして、中心市においては圏域全体の暮らしに必要な都市機能を集約的に整備するとともに、近隣市町村においては必要な生活機能を確保し、農林水産業の振興や豊かな自然環境の保全を図るなど、それぞれの役割分担と有機的な連携・協力のもとで圏域全体の活性化と魅力向上を図ることによって、圏域からの人口流出を食い止めるとともに、人の流れを創出するものです。

津山市とその周辺に位置する鏡野町、勝央町、奈義町、久米南町及び美咲町の１市５町では、平成２７年２月２４日、津山圏域の各市町が連携し、地方創生の取組を進めるため、「津山圏域地域創生協議会」を設立し、産業構造分析や産業の活性化、移住・定住、まちのつながりの強化などの方向性についての検討を進める中で、定住自立圏形成の機運の醸成が図られてきました。

そして取組を更に前進させるため、定住自立圏を形成することとし、中心市の要件を満たす津山市が、平成２８年５月３０日に中心市宣言を行い、各自治体の議会議決を経て、平成２９年１月１１日に定住自立圏形成協定を締結しました。

このビジョンは前述の定住自立圏構想推進要綱及び定住自立圏形成協定に基づき、津山圏域が連携・協力して、それぞれの地域の魅力や資源を活かした活性化と生活基盤の充実と愛着・誇り、魅力にあふれた地域に住み続けたいと感じられる、圏域の形成と発展を目指すための具体的な取組を示すものです。

３．共生ビジョンの計画期間

本ビジョンの計画期間は、平成２９年度から令和３年度の５年間とし、必要に応じて変更を行います。

第2章 圏域の概況

1 地勢

津山圏域は、美作地域の中心に位置し、北は鳥取県、南は、岡山市北区、赤磐市、吉備中央町に接し、中国地方の裾野に広がる那岐山や泉山、一級河川の吉井川・旭川などの山河をはじめとする豊富な自然に育まれた農林業やものづくりによって発展した、四季折々の表情豊かな環境と暮らしやすい都市機能が融合した地域です。

和銅6年（713年）に本地域に美作国が成立して以降、古代から出雲街道や高瀬舟などの陸運や水運が発達し、交通の要衝として栄えました。現在も中国自動車道や岡山県と鳥取県の県庁所在地を結ぶ国道53号をはじめ5つの国道や、JR津山線、因美線、姫新線など、近畿から西日本、瀬戸内海側と日本海側をつなぐ交通の重要な結節点となっています。

津山圏域の総面積は、1,360.40km²となっており、岡山県全体の約19%を占めています。

また、民有地面積の合計は76,602.72haで、そのうちの約7割が山林、約2割が田畑であり、林業や農業が盛んな本圏域の特性にもなっています。

図表1 圏域面積（km²）

	面積	県内割合
津山圏域	1,360.40	19.1%
津山市	506.33	7.1%
鏡野町	419.68	5.9%
勝央町	54.05	0.8%
奈義町	69.52	1.0%
久米南町	78.65	1.1%
美咲町	232.17	3.3%
岡山県	7,114.50	—

図表2 民有地面積（ha）

	田	畑	宅地	山林	原野	その他	計
津山市	5,753.57	994.75	2,404.16	17,560.44	679.84	617.51	28,010.27
鏡野町	1,976.70	306.28	431.53	15,066.30	235.14	157.09	18,173.04
勝央町	1,109.85	501.80	383.62	1,780.07	103.53	66.26	3,945.13
奈義町	800.87	149.17	204.06	1,207.16	66.20	27.01	2,454.47
久米南町	1,229.66	269.96	180.43	4,158.55	266.73	70.77	6,176.10
美咲町	2,271.38	771.57	554.66	13,291.02	621.00	334.08	17,843.71
津山圏域	13,142.03	2,993.53	4,158.46	53,063.54	1,972.44	1,272.72	76,602.72
	17.16%	3.19%	5.43%	69.27%	2.57%	1.66%	100%

出典：各市町固定資産概要調書

2 各市町の概況

(1) 津山市

津山市は、和銅6年（713年）の美作国誕生から現在に至るまで一貫して美作地域の政治・経済・文化の中心として栄えてきました。

平成17年2月28日に、津山市と加茂町、阿波村、勝北町、久米町の1市3町1村が合併し、現在の市域となりました。

市中心部には全国に知られた桜の名所である津山城や、重要伝統的建造物群保存地区の選定を受けた城東地区などの城下町、津山洋学資料館、津山まなびの鉄道館などの歴史文化資源を数多く有しています。

そして、周辺地域には黒木キャンプ場、広戸仙、阿波森林公園、梅の里公園などの豊かな自然が満喫できるレジャー施設や温泉施設があり、多くの観光客が訪れています。

また、ステンレス産業などの金属加工業をはじめとしたものづくりや農林業の高付加価値化、6次産業化などの新たな産業創出に取り組むとともに、県北の玄関口である津山駅の周辺整備など、より一層の中核機能の充実を図っています。

(2) 鏡野町

鏡野町は岡山県の北部に位置し、北は鳥取県に、南東は津山市、西は真庭市に接しています。山陽地方と山陰地方の中間、関西圏と広島県の中間に位置し、古くから山陰、山陽等の主要都市を結ぶ地域となっています。

平成17年3月1日に、鏡野町と奥津町、上齋原村と富村の4町村が合併し、岡山県内の町としては最大面積（419.68km²）となる「鏡野町」が誕生しました。

地形的には、北部は中国山地の1,000m級の高峰が連なり、丘陵起伏して南部に開け、平坦肥沃な平野が展開しています。町の中央部には、岡山県三大河川の一つである吉井川が回流しています。

美しい水資源に抱かれた町は、紅葉の名所として知られる「奥津溪」や「岡山県立森林公園」をはじめ、爽やかなそよ風と樹木が観られる高原、美人の湯として名高い温泉、トマトやイチゴ、ピオーネを始めとした農産物など、四季を通じて様々な自然素材が楽しめ、多様な交流を促進する魅力ある資源を数多く有しています。

また、県内初の「健康づくり条例」を制定し、健康づくりに関する理解を深めながら、健康づくりに主体的に取り組める環境整備などを推進しています。

(3) 勝央町

勝央町は岡山県の北東部に位置し、面積54.05km²。中国山脈の主峰 那岐山の南にあり、北部は緩やかに傾斜する丘陵が起伏し、中南部は町を南北に貫流する滝川に沿って開けた自然豊かな町です。町の中心地「勝間田」は、かつて出雲往来でにぎわった美作7宿のひとつとして知られています。昭和29年3月、勝間田、植月、吉野、古吉野、高取の1町4村が合併し、現在の町域となっています。また勝央町は、金太郎こと

坂田金時終焉の地と伝えられ、「金時ゆかりの町」としても知られています。

栽培面積 170ha を誇る全国有数の黒大豆や、くだもの栽培をはじめとする『農業』と、全国的にも有数の規模を誇る内陸型工業団地を中心とした『工業』、県北を代表する体験交流型農業公園「おかやまファーマーズ・マーケット ノースヴィレッジ」などの『観光スポット』に加え、『自然』と『文化』がバランス良く調和した町として、着実に発展し続けています。

（４）奈義町

奈義町は、中山間地にもかかわらず、空が広く感じられる開けた地形で、四季折々の美しい自然に恵まれたまちです。年間を通して過ごしやすい気候で、積雪は年間数日、量も比較的少ない地域です。台風の季節には那岐山麓一带に「広戸風」が吹くことがありますが、安全安心を守る暮らしが町の自慢です。また、昭和40年の日本原駐屯地創設以来、自衛隊との共存共栄を町是に掲げる「基地のまち」でもあります。町の中心部には子育て・教育施設や福祉施設、文化施設が集まっており、子どもから高齢者まで安心して過ごせる環境が整っています。また、国道53号が町を東西に横断し、車とバスが主な交通手段ですが、町内循環の福祉バスが定期運行し、高齢者の方も安心して買物や通院することができます。生活必需品は町内の各商店で揃えることができ、全域光ファイバー網を整備しているため通信環境は都市部に劣りません。

産業面では、なぎビーフ、おかやま黒豚、里芋、白ネギ、アスパラガス、作州黒（黒豆）、那岐山麓菜の花米などの特産物に代表される農業・畜産業などの1次産業と併せ、全区画完売した町営の東山工業団地では、半導体製造や金属プレス加工、食品製造など多様な業態の企業、全16社が立地し約700名が働いています。

ゆったりとした時間が流れ、文化と自然に囲まれ、ほどよい田舎暮らしができる、それが奈義町です。

（５）久米南町

久米南町は、昭和29年4月1日に弓削町、誕生寺村、龍山村、神目村の1町3村が合併して、現在の町域となりました。岡山県のほぼ中央に位置し、東西9km、南北11.5kmで面積は78.65km²。東は久米郡美咲町（旧柵原町）及び赤磐市（旧吉井町）に、南西は岡山市（旧建部町）に、北は久米郡美咲町（旧中央町）に接します。

気候は比較的温暖であり、積雪もほとんどなく、県下でも暮らしやすい地域です。

交通面では国道53号が町の中央を縦断しており、また、国道とほぼ平行する形でJR津山線（弓削駅、誕生寺駅、神目駅）が通るなど、比較的交通の利便性は高い地域となっています。

そして、古くから川柳によるまちづくりを行っており、全国的に「川柳のまち」と呼ばれています。

また、山間部では中山間地域特有の棚田やため池があり、「日本の棚田百選」に「北庄」

「上粳」の2ヵ所、また、北庄「神之淵池」が「ため池百選」に選ばれています。

主な産業は、米作を中心とする農業で、おいしいお米をはじめ甘くて大粒のピオーネに代表されるブドウ、ユズ、キュウリ、アスパラガスなど、多くの農産物を生産しています。

（6）美咲町

美咲町は、平成17年3月22日に久米郡中央町、同旭町及び柵原町が合併して誕生しました。岡山県の中央部に位置し、県北部と南部を結ぶ交通の要衝として、産業では農林業中心のまちとして成長してきました。また、本山寺、両山寺、かつては東洋一を誇った柵原鉱山など歴史と文化を培い、「日本棚田百選」に選定された農村景観や旭川、吉井川などの自然景観に恵まれた地域です。

町の将来像としては、「世界にはばたく『元気な』美咲町」を掲げ、「人づくり」「健康づくり」「地域づくり」を基本理念として、これまで各種事業を展開してきました。しかしながら、本町においても全国的な傾向と同様に少子高齢化、人口減少化が著しく進展しており、このため、現行「美咲町第二次振興計画」においては、「住んで良かった美咲町」「住んでみたい美咲町」の実現に向けて、定住促進事業をまちづくりの重点施策として位置づけ、子育て支援や高齢者支援、若者に対する婚活事業、空き家対策、定住への助成などをはじめ各世代を通じ、様々な定住促進事業を総合的に実施しています。

3 人口動向と将来展望

(1) 人口の動向

本圏域の人口は1985年の174,094人をピークとして減少傾向にあり、2010年の人口158,586人との比較では15,508人、8.9%減となっています。(図表3)。

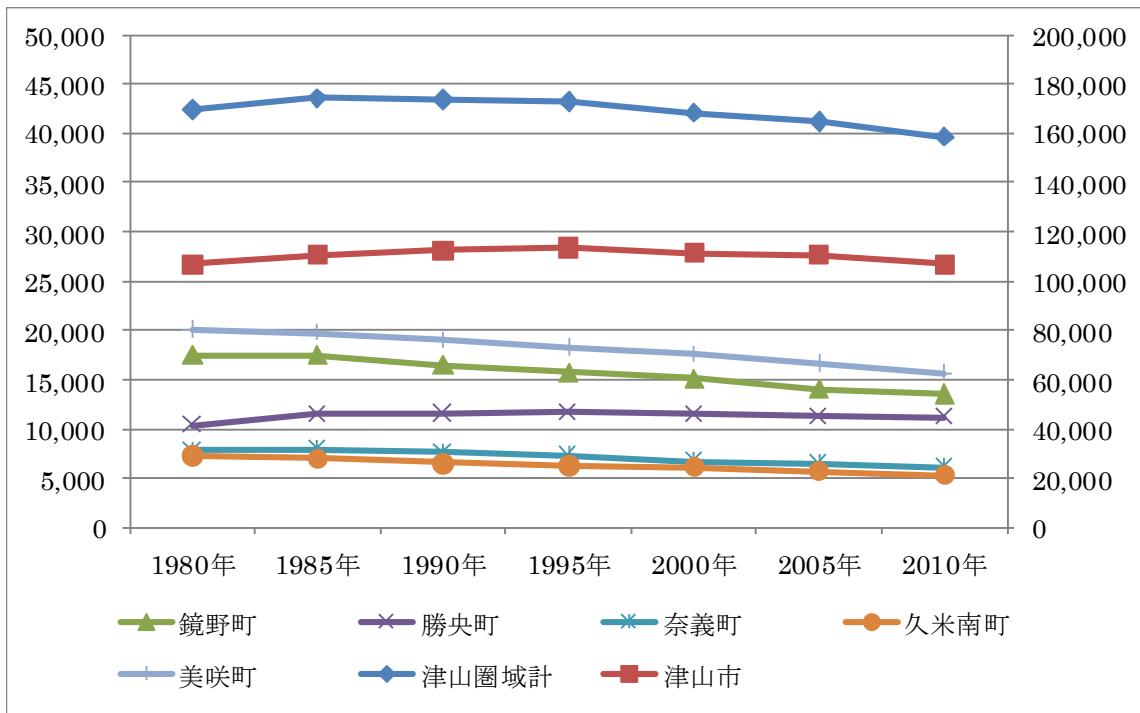
また、年齢構成も年少人口(0歳～14歳)、生産年齢人口(15歳～64歳)の割合が減少し、老年人口(65歳以上)の割合が大きく増加しており、少子高齢化が顕著となっています。(図表4)。

特に、高校から大学を卒業・就業する年代を中心とした若者の地域外への人口流出が著しく、全体でも社会減となり、更なる人口減少と少子高齢化の要因となっています。(図表5、6)

人口の流出先で最も多いのは岡山市であり、次いで関西圏、関東圏の順となっています。このことは、本圏域が都市部へ人材を供給する構図となっていることを示唆しています(図表7)。

図表3 総人口の推移

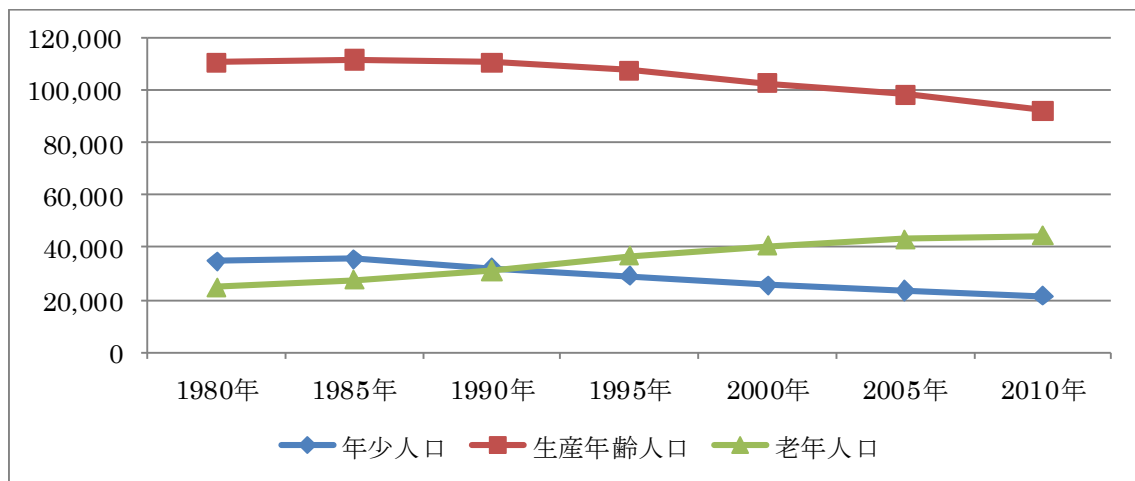
単位：人



	1980年	1985年	1990年	1995年	2000年	2005年	2010年
津山市	106,684	110,542	112,386	113,617	111,499	110,569	106,788
鏡野町	17,493	17,457	16,500	15,731	15,091	14,059	13,580
勝央町	10,382	11,469	11,539	11,669	11,428	11,263	11,195
奈義町	7,818	7,905	7,577	7,230	6,690	6,475	6,085
久米南町	7,257	7,005	6,605	6,266	6,115	5,690	5,296
美咲町	20,029	19,716	18,972	18,254	17,562	16,577	15,642
津山圏域計	169,663	174,094	173,579	172,767	168,385	164,633	158,586

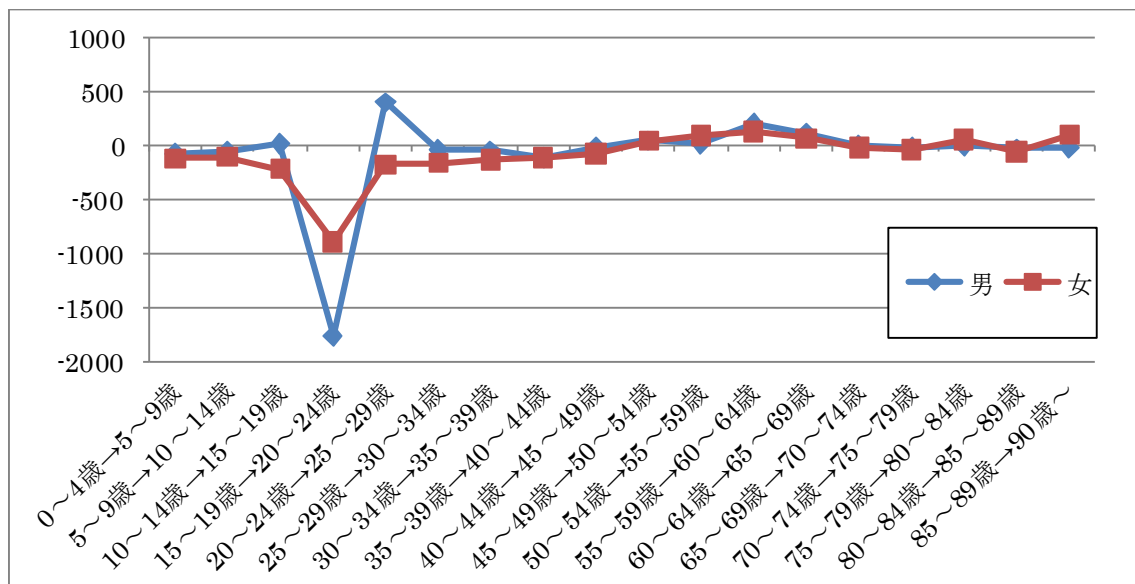
図表4 年齢区分別人口の推移

単位：人



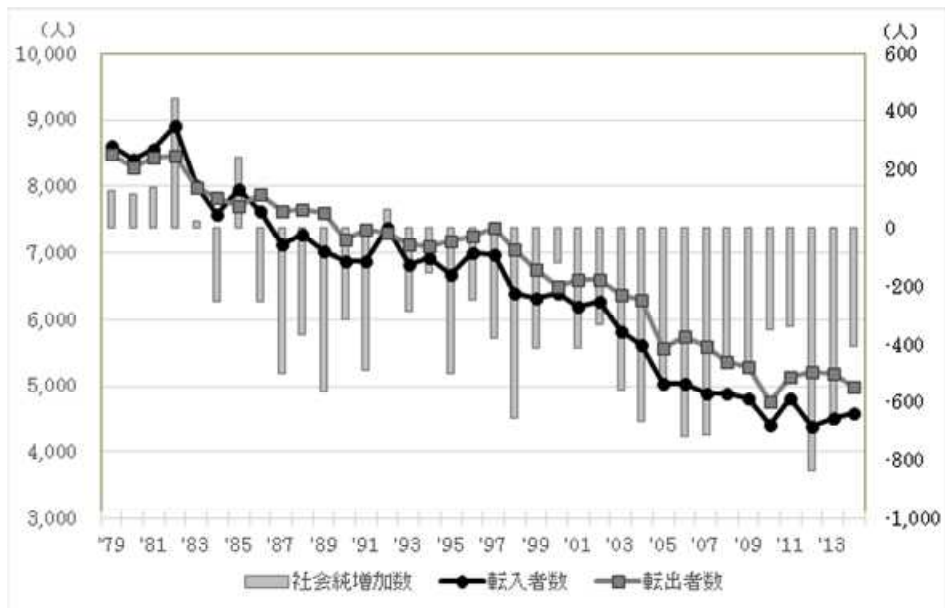
図表5 年齢階級別人口移動の推移

単位：人



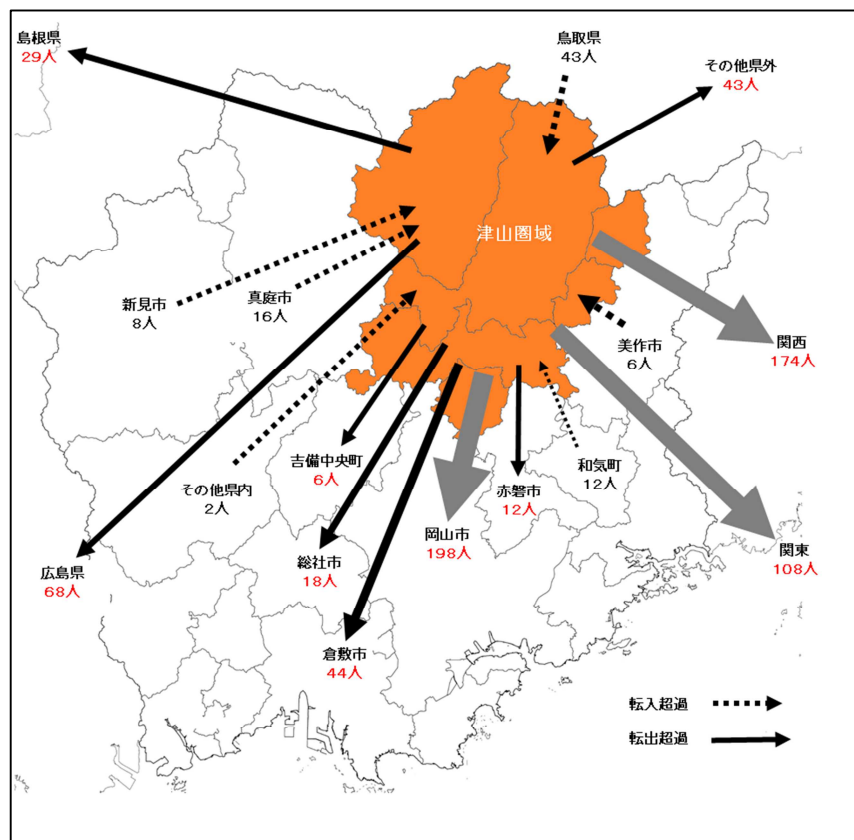
出典：平成22年国勢調査

図表6 津山圏域の人口社会増減の推移



出典：「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数」（総務省）の各年度版

図表7 圏域外との人口移動



出典：「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数」（総務省）
(2013)

（２）昼夜間比率と通勤通学の状況

本圏域の通勤通学の状況は、津山市の住民が市内での就業・通学する割合が８割近くにのぼり、各町においては、４割程度が町内での就業・通学となっていますが、津山市へ通勤・通学する割合も約３割から４割となっており、就業の場や教育が津山市に集積していることがうかがえます。

また、昼夜間人口の比率は津山市、勝央町、奈義町が１を超えており、圏域全体でも１を上回っており、圏域内では昼間人口が上回っている状況です。

図表８ 圏域の各市町の通勤・通学状況

	常住する 就業者・進 学者数 (人)	従業・通学先													
		津山市		鏡野町		勝央町		奈義町		久米南町		美咲町		その他	
		(人)	割合	(人)	割合	(人)	割合	(人)	割合	(人)	割合	(人)	割合	(人)	割合
津山市	49,602	37,772	76.2%	1,518	3.1%	2,009	4.1%	766	1.5%	322	0.6%	1,074	2.2%	6,141	12.4%
鏡野町	5,436	2,232	41.1%	2,410	44.3%	73	1.3%	30	0.6%	32	0.6%	123	2.3%	536	9.9%
勝央町	4,984	1,370	27.5%	38	0.8%	2,042	41.0%	187	3.8%	14	0.3%	91	1.8%	1,242	24.9%
奈義町	2,717	783	28.8%	24	0.9%	199	7.3%	1,285	47.3%	2	0.1%	15	0.6%	409	15.1%
久米南町	2,017	504	25.0%	30	1.5%	19	0.9%	4	0.2%	726	36.0%	133	6.6%	601	29.8%
美咲町	6,158	2,284	37.1%	144	2.3%	140	2.3%	28	0.5%	162	2.6%	2,227	36.2%	1,173	19.0%

出典：平成２２年国勢調査

図表９ 昼夜間人口の比率

	津山市	鏡野町	勝央町	奈義町	久米南町	美咲町	圏域計
昼間人口(人)	109,672	12,823	12,123	6,108	4,828	13,814	159,368
夜間人口(人)	106,788	13,580	11,195	6,085	5,296	15,642	158,586
昼夜間人口の比率	1.027	0.944	1.083	1.004	0.912	0.883	1.005

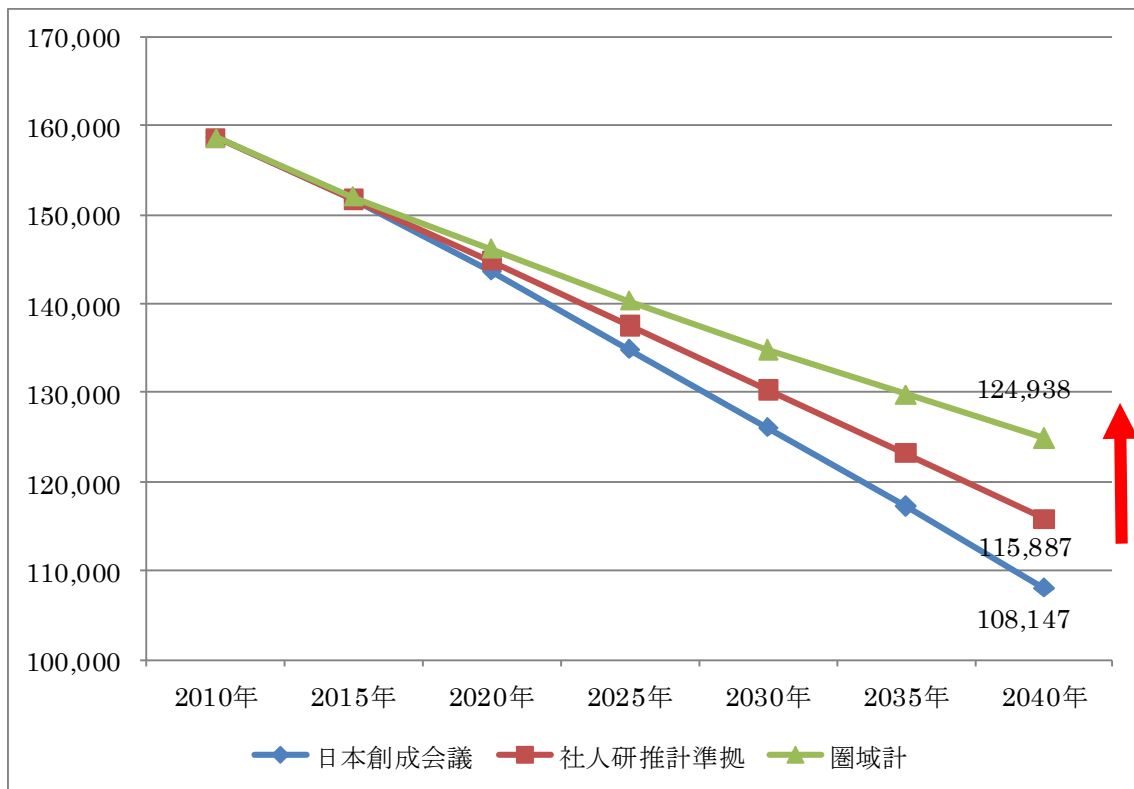
出典：平成２２年国勢調査

(3) 人口の将来展望

平成27年度に圏域の各市町が策定した総合戦略を基に、圏域における人口の将来展望を示します。

今後も人口減少は進むことが予想されますが、各市町の取組や定住自立圏での連携を進めることにより、2040年（令和22年）の将来展望人口を我が国の一般的な将来人口推計である国立社会保障人口問題研究所の将来予測比で7.8%増（9,051人増）の124,938人とします。また、高齢化率は34.8%以下を目指します。

図表10 総人口の将来展望



	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年
圏域計	158,586	151,977	146,161	140,293	134,799	129,762	124,938
津山市	106,788	102,689	98,852	95,000	91,144	87,555	84,099
鏡野町	13,580	12,878	12,137	11,443	10,821	10,250	9,707
勝央町	11,195	10,999	10,647	10,460	10,469	10,489	10,501
奈義町	6,085	5,695	6,006	6,020	6,009	6,011	6,013
久米南町	5,296	4,969	4,634	4,325	4,051	3,816	3,601
美咲町	15,642	14,747	13,884	13,045	12,305	11,641	11,017

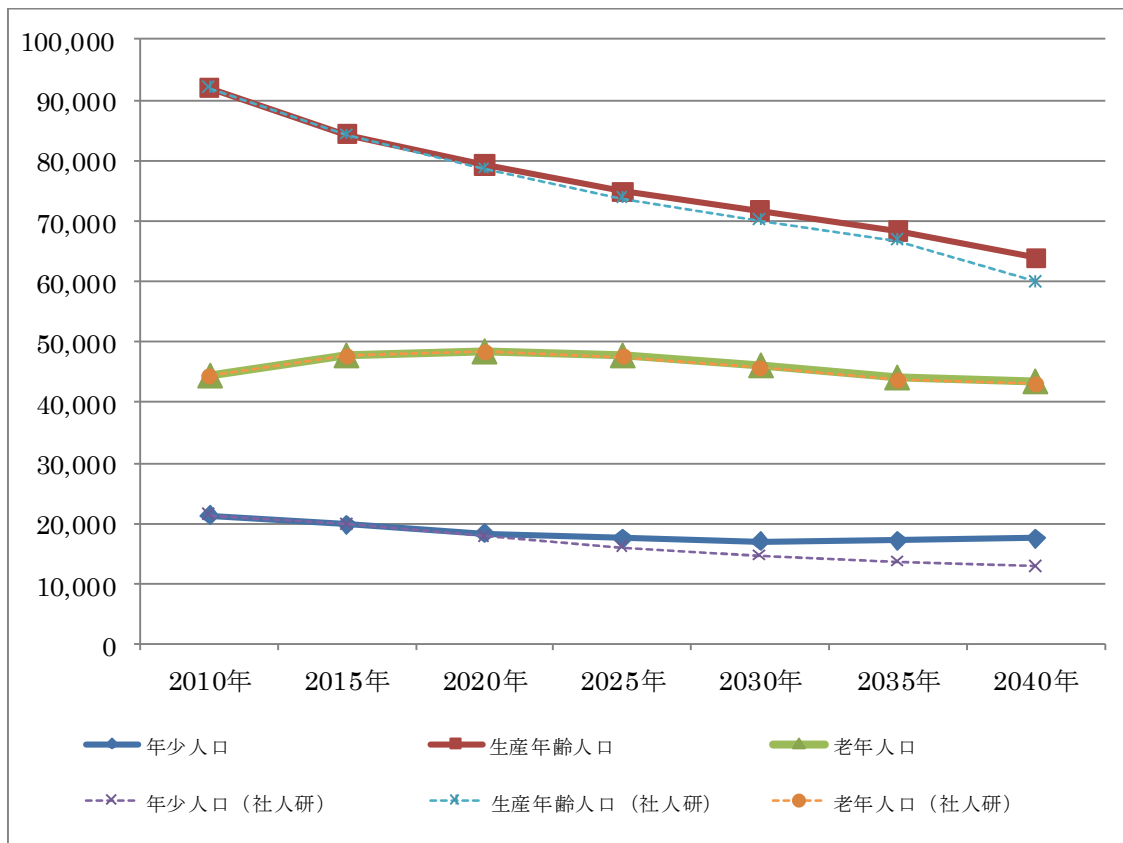
出典：各市町総合戦略

(参考) 平成27年国勢調査確定値

(単位：人)

圏域計	津山市	鏡野町	勝央町	奈義町	久米南町	美咲町
152,963	103,746	12,847	11,125	5,906	4,907	14,432

図表 1 1 年齢 3 区分別人口の将来展望



	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年
年少人口	21,392	19,802	18,398	17,530	17,054	17,148	17,479
生産年齢人口	91,920	84,358	79,237	74,842	71,682	68,370	63,928
老年人口	44,357	47,817	48,527	47,921	46,063	44,244	43,531
高齢化率	28.0%	31.5%	33.2%	34.2%	34.2%	34.1%	34.8%
年少人口(社人研)	21,392	19,779	17,841	16,099	14,601	13,615	12,858
生産年齢人口(社人研)	91,920	84,246	78,632	73,782	70,064	66,775	59,983
老年人口(社人研)	44,357	47,698	48,309	47,612	45,643	43,780	43,043
高齢化率(社人研)	28.1%	31.4%	33.4%	34.6%	35.0%	35.3%	37.1%

(参考) 平成 2 7 年国勢調査確定値

(単位 : 人)

	圏域計	津山市	鏡野町	勝央町	奈義町	久米南町	美咲町
年少人口	19,923	13,991	1,562	1,535	737	483	1,615
生産年齢人口	85,013	59,399	6,576	6,274	3,203	2,344	7,217
老年人口	47,284	29,663	4,699	3,297	1,957	2,076	5,592
合計	152,963	103,746	12,847	11,125	5,906	4,907	14,432
高齢化率(%)	30.9%	28.6%	36.6%	29.6%	33.1%	42.3%	38.7%

4 産業・雇用

(1) 農林業

本圏域は豊かな自然を背景として農林業が盛んな地域であり、基幹産業として重要な役割を担ってきました。各地域には小麦、黒大豆などの穀類、ピオーネなど果物、奈義ビーフやつやま和牛などの畜産、高品質で全国に知られる美作材など特色ある農林産品があります。

しかし、農業を取り巻く環境は大きく変化しており、農林業従事者の高齢化・後継者不足により、農林業経営体数・農産物販売金額も減少傾向となっています。

また、今後は TPP¹等経済のグローバル化によって国内の農林業への大きな影響も懸念されており、将来にわたり、農林業が魅力ある基幹産業として発展するため、更なる高付加価値化やマーケティング、域外への販路開拓などに力を入れていく必要があります。

図表 1 2 農林業経営体数

	年	津山市	鏡野町	勝央町	奈義町	久米南町	美咲町	圏域計
農業経営体数	H17	4,829	1,645	1,000	737	794	1,524	10,529
	H22	4,136	1,432	865	612	641	1,311	8,997
林業経営体数	H17	643	665	58	66	92	343	1,867
	H22	424	385	37	56	58	263	1,223

出典：農林業センサス

図表 1 3 農産物販売金額

(単位：万)

	津山市	鏡野町	勝央町	奈義町	久米南町	美咲町	圏域計
平成 17 年	532,125	140,350	226,225	415,350	123,225	373,175	1,810,450
平成 22 年	489,675	137,675	203,900	324,100	75,100	349,200	1,579,650

出典：RESAS

図表 1 4 林業総収入

(単位：万円)

	津山市	鏡野町	勝央町	奈義町	久米南町	美咲町	圏域計
平成 17 年	51,175	150,550	1,550	15,800	8,800	33,575	261,450
平成 22 年	264,475	69,650	50	30,225	1,975	27,850	349,225

出典：RESAS

(2) 製造業

津山市、鏡野町、勝央町、奈義町には、中国自動車道の開通とともに工業・流通団地の整備が進み、製造業や流通業をはじめとして多くの企業の立地が進み、中国地方内陸部有数の工業・流通業の企業集積が進みました。

平成 26 年の圏域の事業所数は 334 社、従業者数は 12,317 人、製造品出荷額は約 4,372

¹アジア太平洋地域における経済連携協定である、環太平洋パートナーシップ(Trans-Pacific Partnership)の略称。

億円となっており、平成24年以降、事業所数はやや減少していますが、従業者数、製造品出荷額ともに増加傾向となっています。

図表15 製造業の推移

	項目	平成24年	平成25年	平成26年
津山市	事業所数	217	209	205
	従業者数	6,583	5,880	5,985
	製造品出荷額(万円)	18,120,585	17,901,586	20,251,613
鏡野町	事業所数	22	23	22
	従業者数	832	1,086	1,079
	製造品出荷額(万円)	1,681,707	2,245,429	2,414,841
勝央町	事業所数	45	44	41
	従業者数	2,570	2,835	2,865
	製造品出荷額(万円)	13,570,593	15,331,228	15,082,917
奈義町	事業所数	18	18	18
	従業者数	597	610	690
	製造品出荷額(万円)	2,363,259	1,505,548	2,114,706
久米南町	事業所数	13	13	11
	従業者数	375	381	402
	製造品出荷額(万円)	739,388	797,880	888,696
美咲町	事業所数	37	37	37
	従業者数	1,140	1,312	1,296
	製造品出荷額(万円)	2,617,160	2,670,688	2,966,639
津山圏域	事業所数	352	344	334
	従業者数	12,097	12,104	12,317
	製造品出荷額(万円)	39,092,692	40,452,359	43,719,412

出典：政府統計 e-Stat（工業統計調査）

（3）産業別従業者数

圏域における産業別従業者数は勝央町が横ばいとなっていますが、全体では減少しています。また、従業者数の割合の推移は第1次、第2次産業で減少傾向となっています。

図表16 産業別従業者数の推移

	市町名	第1次産業		第2次産業		第3次産業		合計	分類不詳
		従業者数	割合	従業者数	割合	従業者数	割合		
平成17年	津山市	4,090	7.7%	15,185	28.7%	32,923	62.3%	52,198	644
	鏡野町	1,198	17.5%	1,711	25.0%	3,920	57.4%	6,829	2
	勝央町	914	15.7%	1,930	33.2%	2,912	50.0%	5,756	66
	奈義町	782	21.5%	906	25.0%	1,939	53.4%	3,627	2
	久米南町	929	31.3%	642	21.7%	1,391	46.9%	2,962	2
	美咲町	1,652	20.5%	2,291	28.4%	4,074	50.6%	8,017	37
	合計	9,565	11.9%	22,665	28.3%	47,159	58.8%	79,389	753
平成22年	市町名	第1次産業		第2次産業		第3次産業		合計	分類不詳
		従業者数	割合	従業者数	割合	従業者数	割合		
	津山市	2,982	5.9%	13,125	26.0%	30,719	60.9%	46,826	3,646
	鏡野町	1,077	17.1%	1,553	24.7%	3,603	57.3%	6,233	50
	勝央町	698	12.6%	1,824	33.0%	2,928	52.9%	5,450	80
	奈義町	545	16.9%	727	22.6%	1,759	54.6%	3,031	189
	久米南町	727	27.8%	532	20.4%	1,344	51.5%	2,603	9
	美咲町	1,247	17.6%	1,945	27.4%	3,894	54.8%	7,086	19
	合計	7,276	9.7%	19,706	26.2%	44,247	58.8%	71,229	3,993

出典：政府統計 e-Stat 国勢調査（平成17年、平成22年）

(4) 観光

本圏域には、津山市の津山城（鶴山公園）や鏡野町の奥津溪、勝央町のノースヴィレッジ、奈義町の現代美術館、久米南町の誕生寺、美咲町の棚田などの歴史・文化や自然に育まれた多彩な観光資源を有しています。

岡山県内の観光客数は増加傾向にありますが、圏域内の観光客は横ばいとなっており、訪日外国人も含め、更なる観光客獲得のため、圏域内に点在する観光資源を連携させ、プロモーションや情報発信の強化に取り組む必要があります。

図表 1 7 主な名所・旧跡

津山市	津山城（鶴山公園）、衆楽園、城東重要伝統的建造物群保存地区、津山まなびの鉄道館、作楽神社、津山洋学資料館、津山郷土博物館、つやま自然のふしぎ館、阿波森林公園、広戸仙、黒木キャンプ場、布滝、尾所の桜、梅の里公園、美作滝尾駅舎、横野滝
鏡野町	奥津湖、泉山、七色堰、県立森林公園、奥津溪、奥津温泉、妖精の森ガラス美術館、恩原高原スキー場、岩井滝（名水「岩井」）、旧森江家住宅、のとり原キャンプ場、白賀溪谷、男女山公園、越畑ふるさと村
勝央町	おかやまファーマーズ・マーケットノースヴィレッジ、東光寺の油地藏、長尾山金光坊と石仏、かたくり初恋公園、金山谷池親水公園、旧出雲街道勝間田宿跡、栗柄神社、植月の角土俵
奈義町	現代美術館、菩提寺（大イチョウ）、那岐山、なぎビカリアミュージアム、那岐山麓山の駅、山野草公園、蛇淵の滝、三穂神社（三穂太郎像）
久米南町	誕生寺、川柳公園、治部邸、道の駅くめなん、久米南美しい森、笛吹川歌碑公園、宮地やすらぎの里、日本の棚田百選（北庄、上粳）
美咲町	亀甲駅舎、亀甲岩、二上杉、岸田吟香記念館、三休公園・民話村、大坪和西棚田、小山棚田、まきばの館、鉾山公園・資料館・吉ヶ原駅舎、両山寺、摩賀多神社、八幡神社、唐臼墳墓群、本山寺、本経寺、月の輪古墳、香花温泉、エイコンスタジアム

図表 1 8 観光地域別観光客数の推移

単位：千人

	平成 24 年	平成 25 年	平成 26 年
津山・鶴山公園	1,190	1,331	1,182
久米・梅の里	403	365	340
奥津・奥津温泉	368	352	302
上斎原・恩原高原	206	207	212
鏡野・越畑ふるさと村	321	315	306
勝央・ノースヴィレッジ	443	522	452
奈義・現代美術館	111	112	110
久米南・誕生寺	176	169	163
旭・まきばの館	107	98	101
合計	3,325	3,471	3,168
岡山県観光入込客数	13,222	12,320	14,220

出典：岡山県観光客動態調査 ※上記図表は、地域内全体の観光客数を表し、観光地域名にある観光地のための観光客数を表すものではない。

5 医療・福祉

本圏域には約 1 5 0 の医療機関が所在し、その 7 割以上が津山市に集中しています。平成 2 8 年 4 月には津山中央病院に中国・四国地方初となる「がん陽子線治療センター」がオープンするなど、医療環境が充実しています。

また、圏域の高齢化率は 3 5 % を超え、県平均の 2 8 . 6 %、全国平均の 2 6 . 7 % と比較し、非常に高い水準で進んでいます。これに伴い、単身や高齢者のみの世帯も増加しています。

高齢者が可能な限り健康を維持できる取組や、在宅医療や介護が必要となっても、それぞれの状況に応じたサービスの提供によって、住み慣れた地域で安心して暮らせるための環境づくりが重要となります。

図表 1 9 圏域の医療機関施設数

	病院数	診療所数	合計	圏域での割合
津山市	9	98	107	71. 8%
鏡野町	2	11	13	8. 7%
勝央町	1	6	7	4. 7%
奈義町	0	4	4	2. 7%
久米南町	0	5	5	3. 4%
美咲町	1	12	13	8. 7%
津山圏域	13	136	149	100%

出典：総務省統計局 estat、数値は平成 27 年

図表 2 0 圏域の高齢化率（平成 27 年 10 月 1 日現在）

	津山市	鏡野町	勝央町	奈義町	久米南町	美咲町	圏域計
総人口(人)	102,566	12,848	10,937	5,941	4,933	14,598	151,823
高齢者数(人)	29,650	4,681	3,318	1,985	2,062	5,710	47,406
高齢化率(%)	29.1	36.5	30.4	33.4	41.9	39.1	35.1

出典：岡山県

6 交通

本圏域の中央には中国自動車道が東西に縦断し、圏域内には、津山市に津山 IC、院庄 IC、勝央町には、勝央 IC の 3 つのインターチェンジがあります。また、本圏域と岡山空港及び県南地域を結ぶ地域高規格道路「空港津山道路」の早期整備も望まれています。

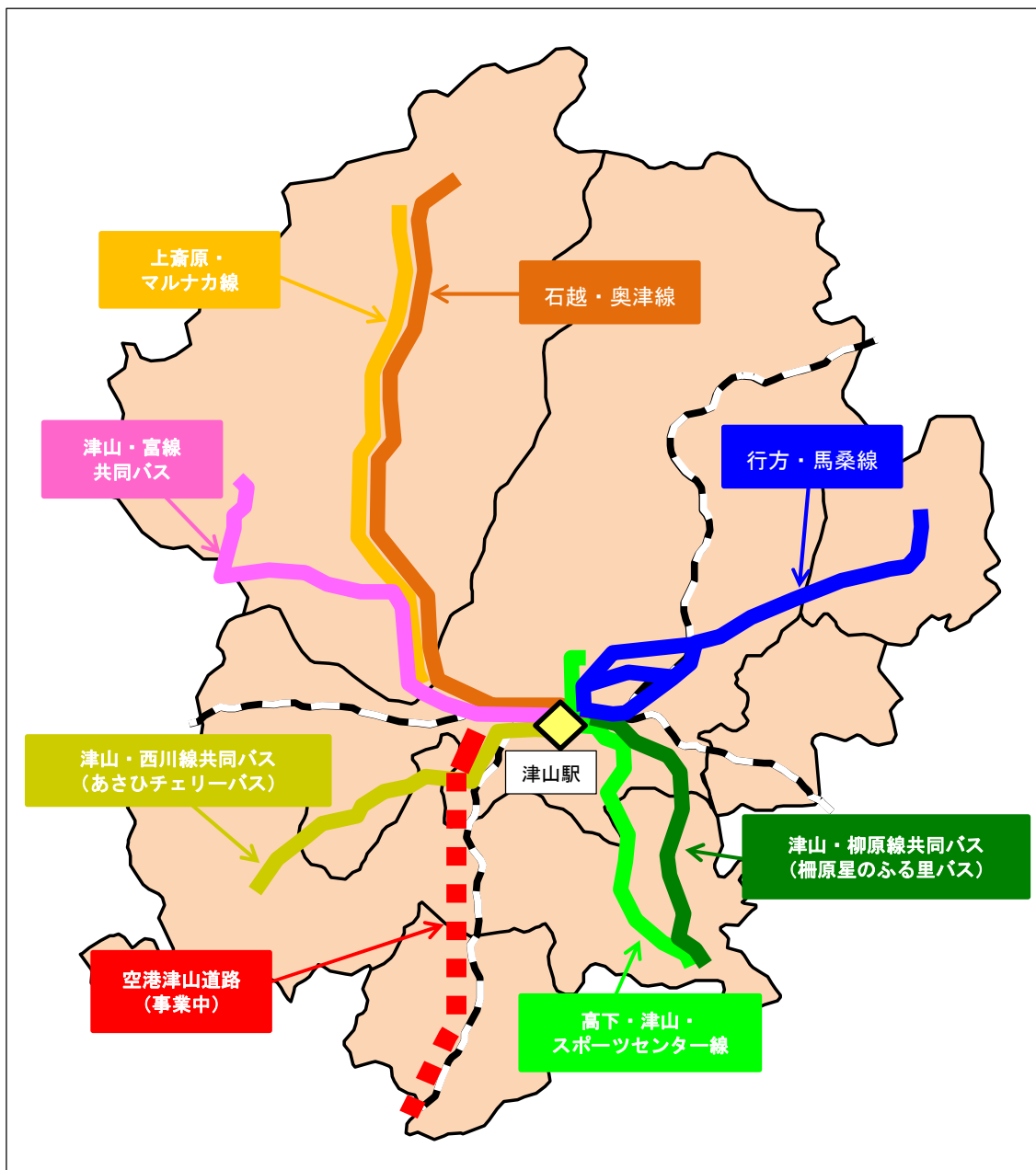
公共交通のうち、鉄道路線については、J R 津山線、姫新線、因美線が運行しており、関西圏と山陽、山陰、西日本をつなぐ結節点となっています。

その他に、広域路線バスが圏域内を結ぶ動脈として、津山市を中心に東西南北に運行し

ています。

一方で、モータリゼーションの伸展などにより公共交通利用者は減少しており、雇用・観光・福祉の観点から、公共交通の維持確保や利便向上に取り組んでいく必要があります。

図表 2 1 圏域をつなぐ公共交通図



第3章 圏域の将来像

1 「人口減少に歯止めをかけるダムとしての圏域の形成」を主眼に置いた将来像

我が国は急速な人口減少と少子高齢化が進行し、今後、この傾向が一層強まると予測されており、本圏域においては国よりさらに早い速度で人口減少と少子高齢化が進んでいます。

人口減少は経済活動の低下、産業人材や地域で活躍する人材確保、税収減による行政運営などに大きな影響をもたらすことから、しごとづくり、移住定住促進、都市機能の充実などをはじめとする施策の推進により、歯止めをかけていかなければなりません。

また、人の交流や、経済活動の広域化や住民ニーズの高度化、多様化に柔軟に対応できる地方分権時代にふさわしい自治体運営が求められています。

これらを踏まえ、各地域の個性を尊重しつつ、津山市は圏域全体のけん引役としてリーダーシップを発揮し、住民の暮らしに必要な都市機能の確保・充実に努め、鏡野町、勝央町、奈義町、久米南町及び美咲町は生活機能の確保・充実に努める役割分担とネットワーク強化を図り、人が集い安心して暮らせる共存共栄の地域社会を実現するため、全力で取り組みます。

そして、圏域の魅力を高め、新たな人の流れを創出することで、人口減少に歯止めをかけるダムとしての圏域の形成を目指し、持続可能な地域であり続けることを最も重要なテーマに据え、その実現に向けた5つの将来像を掲げることとします。

(1) 住み慣れた地域に安全安心に住み続けることができる圏域

医療・福祉・子育てなど、暮らしに直結したサービスの充実を図るとともに、災害への対応に連携して取り組み、圏域住民が住み慣れた地域で、それぞれのライフステージにおいて、安全・安心に住み続けることができる圏域を目指します。

(2) 産業の活性化としごとの創出による自立した圏域

特産物のブランド力の強化や域外への販売拡大、製品の高付加価値化など、地域の資源や強みを活かした産業振興によって、地域に活力としごを創出し、圏域の自立的発展を目指します。

(3) 圏域内外の交流・移住促進による賑わいある圏域

本圏域の魅力や住みやすさを圏域外に情報発信し、圏域外からの移住者の増加を図るとともに、学生のインターンシップや地域内企業とのマッチングなどを進め、若者の地域内就業による定住に連携して取り組みます。

また、歴史文化や豊かな自然、グルメや農林業などを組み合わせたツーリズムに連携して取り組み、域内外の交流促進により、新たな人の流れを創出し、賑わいのある圏域を目指します。

(4) 圏域インフラ等のネットワークによる結びつきの強い圏域

圏域住民の暮らしや、域外との交流、経済活動に欠かすことのできない公共交通の利便性向上と道路などのインフラ等のネットワークの充実に取り組み、機能的で結びつきの強い圏域を目指します。

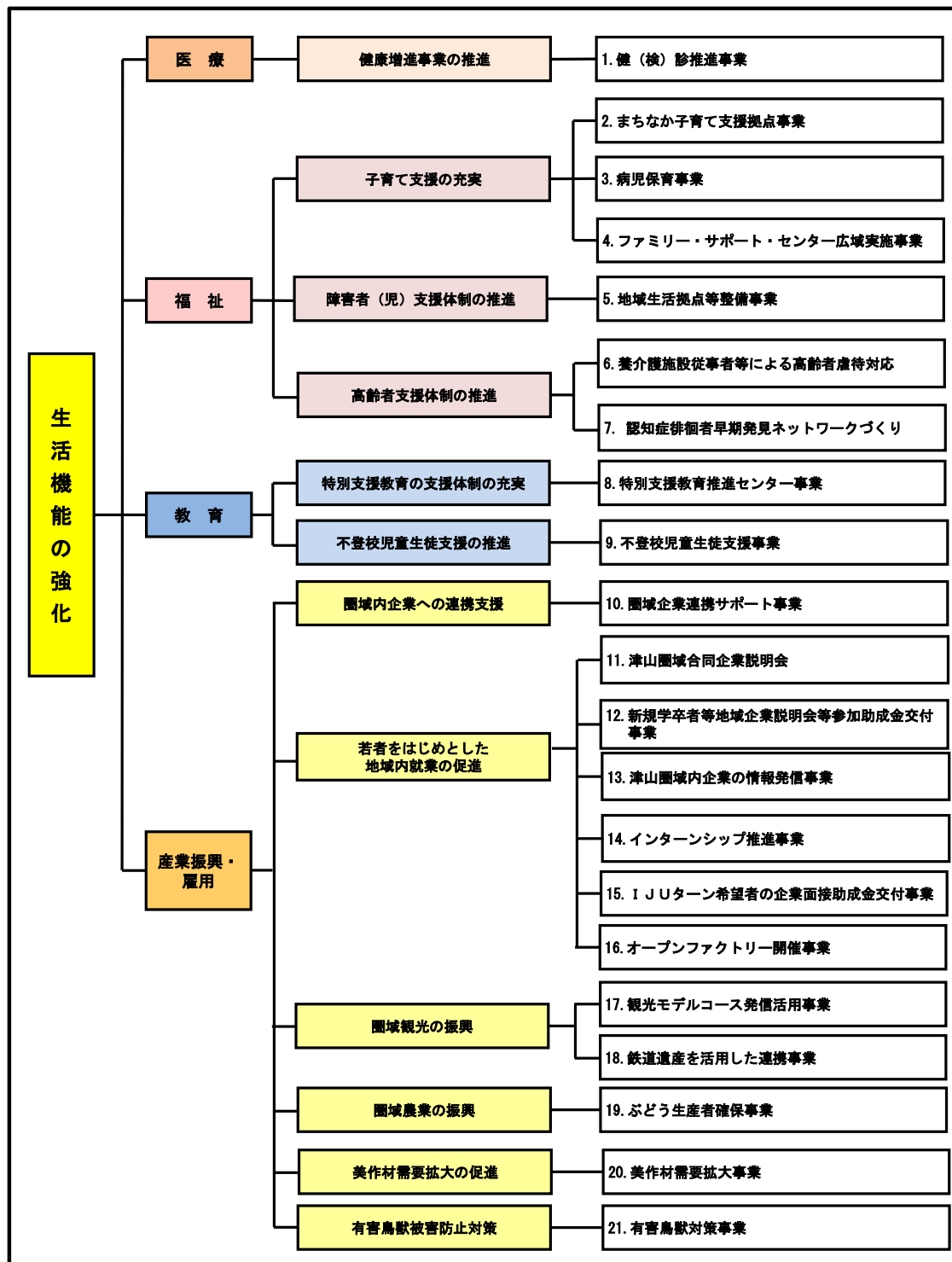
(5) 地域を支える多様な人材が活躍できる圏域

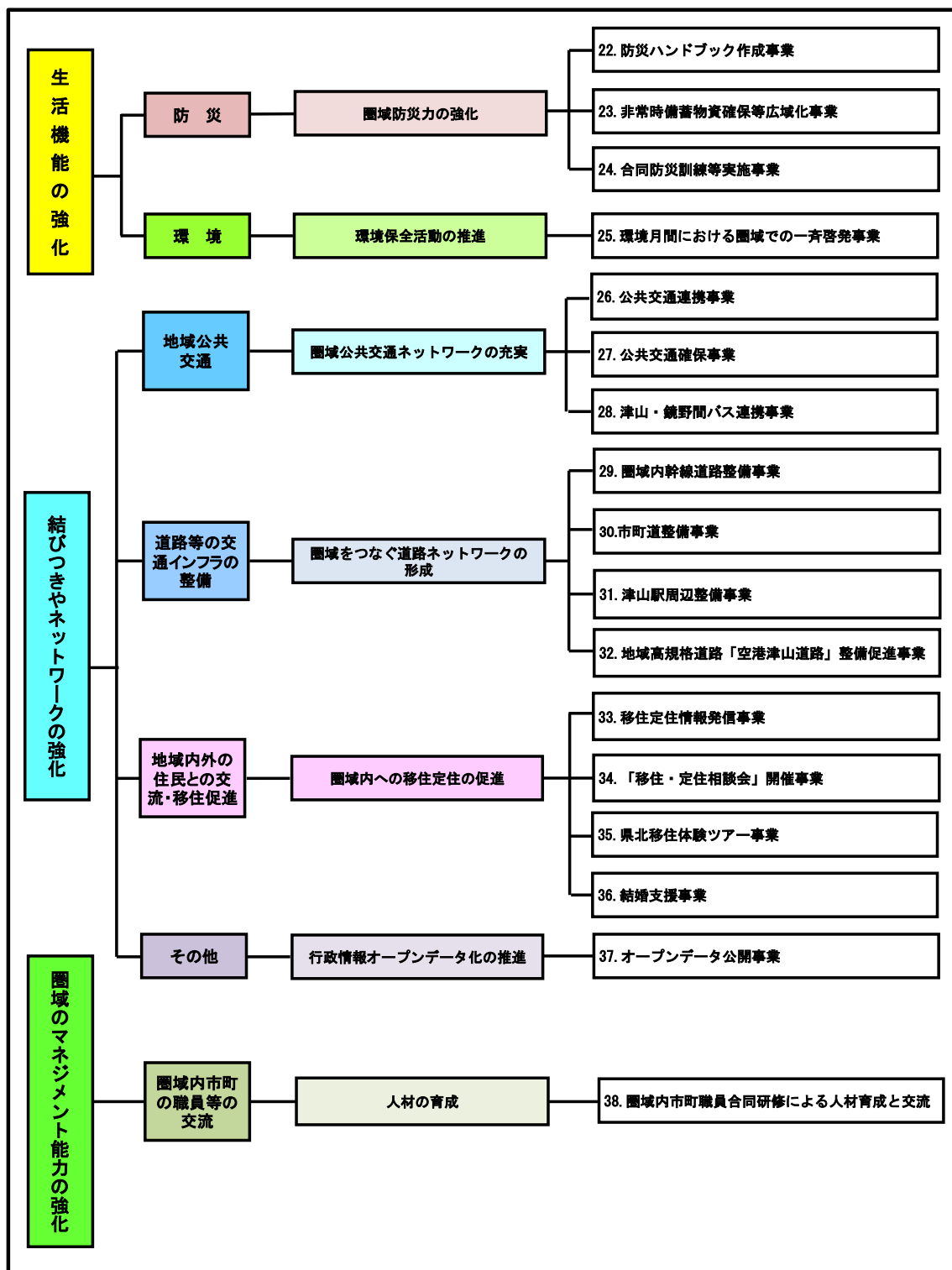
津山圏域が将来にわたり、活力あふれる地域であり続けるための源泉は人であり、将来の地域を支える人材の確保・育成に取り組み、多様な人材が活躍できる圏域を目指します。

第4章 将来像の実現に向け推進する具体的取組

1 取組の全体像

第3章で示した全体像の実現に向け、平成29年1月11日に津山市と鏡野町・勝央町・奈義町・久米南町及び美咲町との間で締結した「津山圏域定住自立圏の形成に関する協定書」に基づき、連携して推進する具体的取組の全体像は以下のとおりです。





2 具体的な取組内容

1の取組の全体像における具体的な取組内容について示します。

なお、取組内容における事業費については、現時点における見込みを記載しており、毎年度の予算により定めるものとします。また、事業費が明確でないものについては空欄としています。

また、施策ごとの目標数値として重要業績評価指標（KPI）を設定し、PDCA²サイクルによる効果的な施策の実施を行います。

（１）生活機能の強化に係る政策分野

ア 医療

①健康増進事業の推進

＜形成協定の内容＞

取組内容	疾病の早期発見、早期治療と圏域住民の健康増進を図るため、健康増進事業に関する普及啓発やサービス提供に連携して取り組む。
------	---

【具体的な取組内容】

事業名	健（検）診推進事業					
関係市町	津山市、鏡野町、勝央町、奈義町、久米南町、美咲町、					
事業内容	津山市が実施しているナイトー健(検)診の対象を圏域住民に拡大して実施する。					
事業効果	受診機会の増加により、疾病の早期発見、早期治療と圏域住民の健康増進を図るなどの事業効果が期待できる。					
事業計画	平成 29 年度に内容の検討等を行い平成 30 年度より実施。	H29 年度	H30 年度	H31 年度	R2 年度	R3 年度
概算事業費 (千円)	H29 年度	H30 年度	H31 年度	R2 年度	R3 年度	計
	0	1,100	1,100	1,100	1,100	4,400
関係市町の役割分担	津山市：ナイトー健(検)診事業を実施する。 鏡野町、勝央町、奈義町、久米南町、美咲町：ナイトー健(検)診への職員派遣等運営協力を行う。					
活用を想定する補助制度等						

K P I：平成 30 年度までに圏域でのナイトー検診の実施体制を構築する。

²計画（plan）、実行（do）、評価（check）、改善（action）のプロセスを継続的に実施することで、よりよい業務改善につなげる手法のこと。


イ 福祉


①子育て支援の充実


《形成協定の内容》

取組内容	子育て家庭の孤立感、負担感等の軽減及び子育て支援環境の充実を図るため、津山市のまちなか子育て支援拠点、病児保育施設及びファミリーサポートセンターの圏域利用に取り組む。
------	---

【具体的な取組内容】

事業名	まちなか子育て支援拠点事業					
関係市町	津山市、鏡野町、勝央町、奈義町、久米南町、美咲町					
事業内容	津山市が中心市街地（アルネ・津山）に設置する「まちなか子育て支援拠点」の利用対象者を圏域住民を中心に拡大し運用するとともに、圏域住民の利用促進に向けた PR・広報等に連携して取り組む。					
事業効果	子育て世代を中心に気軽に利用できる拠点施設の利用により、より多くの子育て家庭の孤立感や負担感の軽減、安心して子育てできる環境の向上につながる。					
事業計画	平成 29 年度より利用開始。	H29 年度	H30 年度	H31 年度	R2 年度	R3 年度
						
概算事業費 (千円)	H29 年度	H30 年度	H31 年度	R2 年度	R3 年度	計
	32,335	37,494	37,494	37,613	37,613	182,549
関係市町の役割分担	津山市：まちなか子育て支援拠点事業の推進、広報など事業を主体的に運営する。 鏡野町、勝央町、奈義町、久米南町、美咲町：事業の活用、普及啓発に努める。					
活用を想定する補助制度等	子ども・子育て支援交付金					

事業名	病児保育事業					
関係市町	津山市、鏡野町、勝央町、奈義町、久米南町、美咲町					
事業内容	就労やその他の理由により、病児・病後児の家庭における保育が困難な保護者の子育てを支援するため、津山市が実施している「病児保育事業」を圏域に拡充し、圏域住民の仕事と子育ての両立を支援する。					
事業効果	しごとと子育てが両立できる環境の充実と、施設利用者の増加を図ることができる。					
事業計画	平成 29 年度より事業実施。	H29 年度	H30 年度	H31 年度	R2 年度	R3 年度
						
概算事業費 (千円)	H29 年度	H30 年度	H31 年度	R2 年度	R3 年度	計
	58,328	37,159	37,159	23,425	23,425	179,496
関係市町の役割分担	津山市：病児保育事業の拡充に必要な整備を行い、当該事業を実施する。 鏡野町、勝央町、奈義町、久米南町、美咲町：病児保育事業を広報し、当該事業の周知、利用促進を図る。					
活用を想定する補助制度等	子ども子育て支援交付金					

事業名	ファミリー・サポート・センター広域実施事業					
関係市町	津山市、鏡野町、勝央町、奈義町、久米南町、美咲町					
事業内容	次代を担う子どもの成長及び保護者による子育てを支援するため、「津山ファミリー・サポート・センター」事業やサポーター等の育成に連携して取り組み、圏域住民の子育て世代の支援を図る。					
事業効果	ファミリー・サポートの取組を広域で実施することにより、安心して子育てができる環境の充実を図ることができる。					
事業計画	平成 29 年度に内容の調整・検討を行い、平成 30 年度より実施	H29 年度	H30 年度	H31 年度	R2 年度	R3 年度
						
概算事業費 (千円)	H29 年度	H30 年度	H31 年度	R2 年度	R3 年度	計
	5,907	5,892	5,892	5,976	5,976	29,643
関係市町の役割分担	津山市：事業を主体的に運営する。 鏡野町、勝央町、奈義町、久米南町、美咲町：事業の普及啓発、会員の拡大を図る。					
活用を想定する補助制度等	子ども子育て支援交付金					

K P I : ・ まちなか子育て拠点の利用者数 0 人 (平成 27 年度) → 50,000 人 (令和 3 年度)


- ・ 病児保育利用者数 666 人 (平成 27 年度) → 2,300 人 (令和 3 年度)
- ・ ファミサポ会員数 1,035 人 (平成 27 年度) → 1,190 人 (令和 3 年度)

②障害者（児）支援体制の推進

《形成協定の内容》

取組内容	障害者（児）が身近な地域において安心して暮らすことのできる社会づくりの推進を図るため、地域生活支援拠点等の整備を進めるとともに、支援体制の構築に連携して取り組む。
------	---

【具体的な取組内容】


事業名	地域生活支援拠点等整備事業					
関係市町	津山市、鏡野町、勝央町、奈義町、久米南町、美咲町					
事業内容	障害者が身近な地域において安心して暮らすことのできる社会づくりのため、多機能型の地域生活支援拠点の整備に取り組む。					
事業効果	相談、専門性、緊急時の対応等、様々な支援を総合的に提供できる拠点を整備することにより、障害者が暮らしやすい社会づくりを推進することができる。					
事業計画	平成 29 年度より事業実施	H29 年度	H30 年度	H31 年度	R2 年度	R3 年度
						
概算事業費 （千円）	H29 年度	H30 年度	H31 年度	R2 年度	R3 年度	計
	0	0	0	3,203	6,600	9,803
関係市町の役割分担	津山市：体制整備及び事業運営を主体的に行う。 鏡野町、勝央町、奈義町、久米南町、美咲町：体制整備及び事業運営への協力。					
活用を想定する補助制度等						


③高齢者支援体制の推進

《形成協定の内容》

取組内容	高齢者の福祉向上を図るため、養介護施設従事者等による高齢者虐待の防止、認知症高齢者の徘徊対応等、連携して高齢者支援に取り組む。
------	---

【具体的な取組内容】

事業名	養介護施設従事者等による高齢者虐待対応					
関係市町	津山市、鏡野町、勝央町、奈義町、久米南町、美咲町					
事業内容	養介護施設従事者等による高齢者虐待の発生時に、迅速かつ的確に対応するため、市町が情報を共有するとともに、対応方法等をルール化し、連携して虐待防止に取り組む。					
事業効果	市町の連携した取り組みにより、養介護施設従事者等による高齢者虐待を防止し、高齢者の権利利益の擁護を強化することができる。					
事業計画	平成 29 年度より事業実施	H29 年度	H30 年度	H31 年度	R2 年度	R3 年度
						
概算事業費 (千円)	H29 年度	H30 年度	H31 年度	R2 年度	R3 年度	計
	0	0	0	0	0	0
関係市町の役割分担	津山市：運用規定の調整等体制整備を行うとともに主体的に事業を運営する。 鏡野町、勝央町、奈義町、久米南町、美咲町：体制整備及び事業運営への協力。					
活用を想定する補助制度等						

事業名	認知症徘徊者早期発見ネットワークづくり					
関係市町	津山市、鏡野町、勝央町、奈義町、久米南町、美咲町					
事業内容	認知症高齢者の行方不明時等に迅速に対応するため、徘徊の恐れのある認知症高齢者の情報を連携市町間で共有するとともに、共通のルール化を図るなどネットワークの整備に取り組む。					
事業効果	認知症高齢者の閉じ込め防止、広域ネットワークによる行方不明時の早期対応が可能となることから、介護家族の不安感の解消が図られるとともに認知症にやさしい地域づくりが推進できる。					
事業計画	平成 29 年度より事業実施	H29 年度	H30 年度	H31 年度	R2 年度	R3 年度
						
概算事業費 (千円)	H29 年度	H30 年度	H31 年度	R2 年度	R3 年度	計
	500	500	0	0	0	1,000
関係市町の役割分担	津山市：課題抽出及び体制整備を行い、事業運営を主体的に行う。 鏡野町、勝央町、奈義町、久米南町、美咲町：体制整備への協力及び当該事業の周知を図る。					
活用を想定する補助制度等						

- K P I : ・平成 29 年度中に地域生活支援拠点を 1 箇所以上整備する。
- ・高齢者虐待対応及び認知症徘徊者早期発見ネットワークについて、平成 29 年度中に 1 市 4 町での連携体制を整える。

ウ 教育

①特別支援教育の支援体制の充実

《形成協定の内容》

取組内容	特別支援教育の充実を図るため、津山市特別支援教育推進センターを圏域内の拠点施設と位置付け、特別な教育的ニーズに応じた通級指導などに取り組む。
------	--

【具体的な取組内容】


事業名	特別支援教育推進センター事業					
関係市町	津山市、鏡野町、勝央町、奈義町、久米南町、美咲町					
事業内容	「津山市特別支援教育推進センター」を圏域内の特別支援教育の拠点と位置付け、新たに圏域の未就学児の受入れを行うとともに、教育相談体制の強化を図るもの。					
事業効果	特別支援教育の充実により、幼児、児童、生徒及びその保護者の教育ニーズへの効果的な対応が可能となる。					
事業計画	平成 29 年度に内容の調整・検討を行い、平成 30 年度から実施	H29 年度	H30 年度	H31 年度	R2 年度	R3 年度
概算事業費 (千円)	H29 年度	H30 年度	H31 年度	R2 年度	R3 年度	計
	0	11,645	11,574	8,332	8,332	39,883
関係市町の役割分担	津山市：圏域からの受入体制の整備を行い、当該事業を主体的に実施する。 鏡野町、勝央町、奈義町、久米南町、美咲町：センターとの連携を図るとともに、事業の普及促進を図る。					
活用を想定する補助制度等						

②不登校児童生徒支援の推進

《形成協定の内容》

取組内容	不登校児童及び生徒の社会的自立を図るため、津山市教育相談センター 鶴山塾の圏域利用に取り組む。
------	--

【具体的な取組内容】

事業名	不登校児童生徒支援事業					
関係市町	津山市、鏡野町、勝央町、奈義町、久米南町、美咲町					
事業内容	何らかの理由で登校できない児童・生徒のために津山市教育相談センター鶴山塾で行っている通塾支援を圏域に拡充し、不登校児童・生徒の学校への復帰、社会への自立を支援する。					
事業効果	不登校となっている圏域の児童・生徒も鶴山塾へ通塾することにより、社会的自立を図ることができる。					
事業計画	平成 29 年度より事業実施	H29 年度	H30 年度	H31 年度	R2 年度	R3 年度
						
概算事業費 (千円)	H29 年度	H30 年度	H31 年度	R2 年度	R3 年度	計
	12,530	12,718	12,856	12,959	12,959	64,022
関係市町の役割分担	津山市：制度設計を行うとともに、各町の小中学校への周知を図る。 鏡野町、勝央町、奈義町、久米南町、美咲町：制度の周知を図る。					
活用を想定する補助制度等						

K P I : ・ 通常学級における特別な支援を必要とする児童生徒の個別の支援計画の
作成率 80.9% (平成 28 年度) → 100% (令和 2 年度)
・ 不登校出現率【100 人当たりの発生件数】を岡山県平均値より改善する。


エ 産業振興・雇用

①圏域内企業への連携支援

《形成協定の内容》

取組内容	産学官連携による圏域内企業の包括的な支援に取り組み、企業の活性化、イノベーションの創出を図る。
------	---

【具体的な取組内容】

事業名	圏域企業連携サポート事業					
関係市町	津山市、鏡野町、奈義町、美咲町					
事業内容	つやま産業支援センターを中心とした圏域内企業及び創業者に対する産業振興の研修、訪問活動などのビジネスサポート及び津山ステンレスクラスター、異業種プラットフォームなど産学官・企業連携の強化に取り組む。					
事業効果	圏域企業間の連携強化や創業者のビジネスサポート及び産業人材の育成により、圏域企業の持続的成長及び雇用創出が見込まれる。					
事業計画	平成 29 年度より事業実施	H29 年度	H30 年度	H31 年度	R2 年度	R3 年度
						
概算事業費 (千円)	H29 年度	H30 年度	H31 年度	R2 年度	R3 年度	計
	11,000	11,000	11,000	11,805	11,805	56,610
関係市町の役割分担	津山市：産業支援センターを中心に事業を主体的に運営する。 鏡野町、奈義町、美咲町：事業及び制度内容の広報					
活用を想定する補助制度等						

K P I : 異業種連携プラットフォーム参加社数


80 社（平成 27 年度）→120 社（令和 3 年度）


②若者をはじめとした地域内就業の促進


《形成協定の内容》


取組内容	高校・高専・短大・大学等の新規学卒者の地域内就職者数を増やし、若者の定住促進を図るため、地域内就業の促進等に取り組む。
------	---


【具体的な取組内容】


事業名	津山圏域合同企業説明会事業					
関係市町	津山市、鏡野町、勝央町、奈義町、久米南町、美咲町					
事業内容	圏域内企業の魅力を広く伝え、新規学卒者の就職者数の増加にむけた合同企業説明会及び就職面接会を津山圏域と岡山市で開催する。					
事業効果	圏域内企業への就職者数の増加及び若者の定住が見込まれる。					
事業計画	平成 29 年度より事業実施	H29 年度	H30 年度	H31 年度	R2 年度	R3 年度
						
概算事業費 (千円)	H29 年度	H30 年度	H31 年度	R2 年度	R3 年度	計
	2,694	2,635	2,573	2,268	2,268	12,438
関係市町の役割分担	津山市：津山広域事務組合と連携し説明会等を実施、周知する。 鏡野町、勝央町、奈義町、久米南町、美咲町：事業の周知を図る					
活用を想定する補助制度等						

事業名	新規学卒者等地域企業説明会等参加助成金交付事業					
関係市町	津山市、鏡野町、勝央町、奈義町、久米南町、美咲町					
事業内容	圏域及び岡山市等で開催される合同企業説明会や就職説明会へ参加するための交通費の一部助成に取り組む。					
事業効果	圏域で地方で開催する合同企業説明会及び就職説明会への参加環境を整備することで、合同企業説明会等への参加者数及び圏域内への若者の就職者数の増加が見込まれる。					
事業計画	平成 29 年度より事業実施	H29 年度	H30 年度	H31 年度	R2 年度	R3 年度
						
概算事業費 (千円)	H29 年度	H30 年度	H31 年度	R2 年度	R3 年度	計
	1,580	1,580	797	797	797	5,551
関係市町の役割分担	津山市：津山広域事務組合と連携し制度内容の企画立案及び周知を図る。 鏡野町、勝央町、奈義町、久米南町、美咲町：事業の周知を図る					
活用を想定する補助制度等						

事業名	津山圏域内企業の情報発信事業					
関係市町	津山市、鏡野町、勝央町、奈義町、久米南町、美咲町					
事業内容	圏域内企業への見学バスツアー及び高校生の取材による企業紹介プロモーションビデオ制作・発表、大学生による企業PR記事制作、就活セミナー等の開催に取り組む。					
事業効果	圏域内の魅力ある企業を地域内外の学生や保護者への情報提供ができることから、圏域内への就職者数の増加及び若者の定住が見込まれる。					
事業計画	平成 29 年度より事業実施	H29 年度	H30 年度	H31 年度	R2 年度	R3 年度
						
概算事業費 (千円)	H29 年度	H30 年度	H31 年度	R2 年度	R3 年度	計
	1,670	3,315	3,029	4,233	4,233	16,480
関係市町の役割分担	<p>津山市：見学受入企業及び学校との調整、広報媒体作成及び学校への広報、参加者募集を図る。</p> <p>鏡野町、勝央町、奈義町、久米南町、美咲町：見学受入企業や学校との調整、参加者募集及びプロモーションビデオの広報を行う。</p>					
活用を想定する補助制度等						

事業名	インターンシップ推進事業					
関係市町	津山市、鏡野町、勝央町、奈義町、久米南町、美咲町					
事業内容	圏域内企業の魅力を高校生や大学生等の学生に感じてもらうためインターンシップに取り組む。					
事業効果	圏域内企業の職場環境を実際に体験してもらうことで、新規学卒者の圏域内就職の増加及び若者の定住が見込まれる。					
事業計画	平成 29 年度より事業実施	H29 年度	H30 年度	H31 年度	R2 年度	R3 年度
						
概算事業費 (千円)	H29 年度	H30 年度	H31 年度	R2 年度	R3 年度	計
	119	91	76	45	45	376
関係市町の役割分担	<p>津山市：圏域内企業のインターンシップ受入調査及び企業と学校・学生との調整、インターンシップ支援事業の周知を図る。</p> <p>鏡野町、勝央町、奈義町、久米南町、美咲町：インターンシップ受入可能企業の調査及び周知を行う。</p>					
活用を想定する補助制度等						

事業名	I J Uターン希望者の企業面接助成交付事業					
関係市町	津山市、鏡野町、勝央町、奈義町、久米南町、美咲町					
事業内容	I J Uターンを検討している方に対する就職や転職活動に伴う企業面接試験に要する交通費の一部助成制度を創設し、無料職業紹介センター等との連携により、津山圏域へのI J Uターンの促進を図る。					
事業効果	I J Uターンを検討している方が企業面接等を受けやすくなり、移住定住や地域企業への就業促進、人材確保が図られる。					
事業計画	平成 29 年度より事業実施	H29 年度	H30 年度	H31 年度	R2 年度	R3 年度
						
概算事業費 (千円)	H29 年度	H30 年度	H31 年度	R2 年度	R3 年度	計
	758	758	502	502	502	3,022
関係市町の役割分担	津山市：制度実施のための企画・立案及び移住希望者等への事業周知を図る。 鏡野町、勝央町、奈義町、久米南町、美咲町：事業への協力及び移住希望者等への事業周知を図る。					
活用を想定する補助制度等						

事業名	オープンファクトリー開催事業					
関係市町	津山市、鏡野町、勝央町、奈義町、久米南町、美咲町					
事業内容	津山圏域内の製造業等の工場や現場を開放し、ものづくり体験、製品販売等のイベントを実施する。					
事業効果	地域のモノづくりや企業の魅力について、小中高生等を中心に、地域内外の多くの方に伝える機会を創出する。結果、将来的な企業への就業促進や若者の定住化を促進する。					
事業計画	平成 30 年度より事業実施	H29 年度	H30 年度	H31 年度	R2 年度	R3 年度
						
概算事業費 (千円)	H29 年度	H30 年度	H31 年度	R2 年度	R3 年度	計
	—	6,000	4,000	4,000	4,000	18,000
関係市町の役割分担	津山市：産業支援センターを中心に事業を主体的に運営する。 鏡野町、勝央町、奈義町、久米南町、美咲町：事業の広報等					
活用を想定する補助制度等						

K P I : ・ 合同企業説明会・就職面接会参加者数

226 人/年（平成 27 年度）→300 人/年（令和 3 年度）

・ 新規学卒者の合同企業説明会・就職面接会参加者数

150 人/年（平成 27 年度）→250 人/年（令和 3 年度）

・ 学生による企業魅力紹介延べ件数

0 社（平成 27 年度）→60 社（令和 3 年度）

・ インターンシップ参加者数

343 人/年（平成 27 年度）→450 人/年（令和 3 年度）

・ 移住相談等による県外からの I J U ターン者の圏域内就職者の延べ人数

60 人（平成 27 年度）→400 人（H29 年～R3 年度）

・ I J U ターン希望者の企業面接助成交付事業を利用して就活した I J U ターン者延べ人数 0 人（平成 27 年度）→200 人（令和 3 年度）


・ オープンファクトリー参加企業：50 社、総来場者数：5,000 名

③圏域観光の振興

《形成協定の内容》

取組内容	交流人口の増加及び観光誘客の推進を図るため、圏域の観光資源を掘り起し、既存の観光資源と結び付けながら、滞在型観光の構築に取り組む。
------	---

【具体的な取組内容】

事業名	観光モデルコース発信活用事業					
関係市町	津山市、鏡野町、勝央町、奈義町、久米南町、美咲町					
事業内容	圏域内にある「鉄道」「自然・景観」「グルメ」などの観光資源を結びつけテーマごとの観光モデルコースを開発し、ホームページ等で情報発信する誘客促進に取り組む。					
事業効果	圏域内における観光客・交流人口の増加及び滞在時間の拡大が見込まれる。					
事業計画	平成 29 年度に事業検討を行い、平成 30 年度より事業実施	H29 年度	H30 年度	H31 年度	R2 年度	R3 年度
						
概算事業費 (千円)	H29 年度	H30 年度	H31 年度	R2 年度	R3 年度	計
	0	0	0	0	0	0
関係市町の役割分担	津山市：観光モデルコースの設定及び発信、関係団体との調整を行う。 鏡野町、勝央町、久米南町、奈義町、美咲町：観光資源の発掘及び観光モデルコース設定協力、発信を行う					
活用を想定する補助制度等						

事業名	鉄道遺産を活用した連携事業					
関係市町	津山市、美咲町					
事業内容	津山市の「津山まなびの鉄道館」と美咲町の「柵原ふれあい鉱山公園」を結ぶバス運行に取り組む。					
事業効果	鉄道遺産施設の活用による新たな観光モデルコースを設定、発信することで、観光客・交流人口の増加及び滞在時間の拡大が見込まれる。					
事業計画	平成 29 年度に事業 実施	H29 年度	H30 年度	H31 年度	R2 年度	R3 年度
概算事業費 (千円)	H29 年度	H30 年度	H31 年度	R2 年度	R3 年度	計
	2,250	1,300	1,300	1,300	1,300	7,450
関係市町の役割分担	津山市：関係団体との調整及び情報発信を行う。 美咲町：関係施設との調整、情報発信など事業への協力を行う。					
活用を想定する補助制度等	地方創生推進交付金					

K P I : 各市町の主要観光施設入込数 (16 施設)


183 万人 (平成 27 年度) → 200 万人 (令和 3 年度)

④圏域農業の振興

《形成協定の内容》

取組内容	圏域農業の基幹作物として成長性のある、ぶどうの産地形成、担い手育成に連携して取り組む。
------	---

【具体的な取組内容】

事業名	ぶどう生産者確保事業					
関係市町	津山市、勝央町、久米南町、美咲町					
事業内容	地域の特産物であるぶどう栽培について、ぶどう棚がある栽培の可能な空き農地と栽培希望者のマッチングに取り組む。					
事業効果	ぶどうの産地形成の維持及びぶどう生産量の安定化が図られる。					
事業計画	平成 29 年度に意向調査、平成 30 年度より事業実施	H29 年度	H30 年度	H31 年度	R2 年度	R3 年度
						
概算事業費 (千円)	H29 年度	H30 年度	H31 年度	R2 年度	R3 年度	計
	0	0	0	0	0	0
関係市町の役割分担	津山市：関係者等への意向調査実施及びマッチングを行う。 勝央町、久米南町、美咲町：関係施設との調整、情報発信など事業への協力を行う。					
活用を想定する補助制度等						


K P I : ぶどうの出荷量の増加 94 t (平成 27 年度) → 170 t (令和 3 年度)

⑤美作材需要拡大の促進

《形成協定の内容》

取組内容	美作材の海外への販路開拓のため、官民一体となった協力体制を構築し、輸出事業に取り組む。
------	---

【具体的な取組内容】

事業名	美作材海外需要拡大事業					
関係市町	津山市、美咲町					
事業内容	地域産材である美作材の海外需要を拡大していくため美作材輸出振興協議会を中心に輸出事業に取り組む。					
事業効果	美作材の販路拡大により、木材関連産業の振興を図ることによって所得の向上と雇用拡大が図られる。					
事業計画	平成 29 年度より事業実施	H29 年度	H30 年度	H31 年度	R2 年度	R3 年度
						
概算事業費 (千円)	H29 年度	H30 年度	H31 年度	R2 年度	R3 年度	計
	3,300	3,478	—	—	—	6,778
関係市町の役割分担	津山市：関係団体との調整及び海外市場の調査研究を行う。 美咲町：関係団体との調整など事業への協力を行う。					
活用を想定する補助制度等	県産材新販路開拓支援事業補助金					


K P I : 美作材輸出力 0 m³ (平成 27 年度) → 600 m³ (平成 30 年度)

⑥有害鳥獣被害防止対策

《形成協定の内容》

取組内容	有害鳥獣による農作物への被害の軽減や未然防止を図るため、有害鳥獣被害対策に向けた各種事業に取り組む。
------	--

【具体的な取組内容】

事業名	有害鳥獣対策事業					
関係市町	津山市、鏡野町、勝央町、奈義町、久米南町、美咲町					
事業内容	鳥獣被害対策実施隊による広域駆除活動と広域防護柵の効率的な設置に取り組み、鳥獣共同処理施設の設置についても検討する。					
事業効果	圏域内での一斉駆除が可能となり、効率・効果的な有害鳥獣の駆除が図れる。					
事業計画	平成 29 年度より事業実施	H29 年度	H30 年度	H31 年度	R2 年度	R3 年度
						
概算事業費 (千円)	H29 年度	H30 年度	H31 年度	R2 年度	R3 年度	計
	0	0	0	0	0	0
関係市町の役割分担	津山市：駆除の実施時期、方法についての関係者との調整及び処理体制の共同研究を行う。 鏡野町、勝央町、奈義町、久米南町、美咲町：関係者との連絡調整及び処理施設の共同研究への協力を行う。					
活用を想定する補助制度等	鳥獣被害防止対策総合交付金					

K P I : 鳥獣による農林水産業被害額の低減

39,650 千円（平成 27 年度）→27,700 千円（令和 3 年度）

オ 防災

①圏域防災力の強化

《形成協定の内容》

取組内容	圏域における防災体制の強化と非常時備蓄物資確保並びに連携強化等による防災力の向上を図るため、住民等の防災意識の向上と大規模・広域災害発生時における相互応援・協力体制の整備に取り組む。
------	---

【具体的な取組内容】

事業名	防災ハンドブック作成事業					
関係市町	津山市、鏡野町、勝央町、奈義町、久米南町、美咲町					
事業内容	平常時からの備えや訓練実施の重要性などを呼びかける圏域版防災ハンドブックを作成し、圏域住民の防災意識の高揚を図る。					
事業効果	圏域住民の防災意識の高揚、自助・共助の意識に基づいた地域防災力の育成に繋がり、減災に向けた圏域防災力の向上が図られる。					
事業計画	平成 29 年度に内容等を検討し、平成 30 年度にハンドブックを作成。	H29 年度	H30 年度	H31 年度	R2 年度	R3 年度
概算事業費 (千円)	H29 年度	H30 年度	H31 年度	R2 年度	R3 年度	計
	0	4,320	—	—	—	4,320
関係市町の役割分担		津山市：ハンドブックの作成に中心となって取り組む。 鏡野町、勝央町、奈義町、久米南町、美咲町：ハンドブックの作成に連携して取り組む。				
活用を想定する補助制度等						

事業名	非常時備蓄物資確保等広域化事業					
関係市町	津山市、鏡野町、勝央町、奈義町、久米南町、美咲町					
事業内容	市町連携による備蓄相互支援体制を整備し、非常時備蓄物について、効率的な確保と調達にかかるコスト低減に取り組む。					
事業効果	市町連携した備蓄物資確保体制により、安全安心な圏域づくりに向けた防災体制の強化が図られる。					
事業計画	平成 29 年度に内容や相互支援等についての検討を行い、平成 30 年度より共同購入を実施。	H29 年度	H30 年度	H31 年度	R2 年度	R3 年度
概算事業費 (千円)	H29 年度	H30 年度	H31 年度	R2 年度	R3 年度	計
	0	13,805	10,702	7,014	13,776	45,297
関係市町の役割分担	津山市：共同購入や保管方法について検討・実施する。 鏡野町、勝央町、奈義町、久米南町、美咲町：「県・市町村防災対策研究協議会」の目標数値を基本として検討・実施する。					
活用を想定する補助制度等						

事業名	合同防災訓練等実施事業					
関係市町	津山市、鏡野町、勝央町、奈義町、久米南町、美咲町					
事業内容	隣接する自治体が防災体制の強化に向け、合同で防災訓練を企画・実施する。					
事業効果	市町間の連携体制の構築により、防災体制・圏域防災力の強化に繋がる。					
事業計画	平成 29 年度に訓練内容を協議し、平成 30 年度より実施。	H29 年度	H30 年度	H31 年度	R2 年度	R3 年度
概算事業費 (千円)	H29 年度	H30 年度	H31 年度	R2 年度	R3 年度	計
	0	1,200	0	0	0	1,200
関係市町の役割分担	津山市：訓練の内容等を検討、実施する。 鏡野町、勝央町、奈義町、久米南町、美咲町：訓練の内容等を検討、実施する。					
活用を想定する補助制度等						

Ｋ Ｐ Ｉ：圏域内自主防災組織率の早期 100%の達成及び防災組織活動（100%）の維持
92%（平成 26 年度）→100%（令和 3 年度）


力 環境

①環境保全活動の推進

《形成協定の内容》

取組内容	様々な環境問題について住民や事業者の理解と関心を深め、環境保全の推進を図るため、環境啓発活動等に連携して取り組む。
------	---

【具体的な取組内容】

事業名	環境月間における圏域での一斉啓発事業					
関係市町	津山市、鏡野町、勝央町、奈義町、久米南町、美咲町					
事業内容	環境保全に対する問題意識を広く喚起し、積極的な行動へとつなげるため、環境イベント等への共同出展や環境啓発事業に連携して取り組む。					
事業効果	啓発活動を圏域で行うことにより、より効果的なPRが可能となるとともに、圏域住民への環境問題への意識の醸成を図ることができる。					
事業計画	平成 29 年度より事業実施。	H29 年度	H30 年度	H31 年度	R2 年度	R3 年度
						
概算事業費 (千円)	H29 年度	H30 年度	H31 年度	R2 年度	R3 年度	計
	0	0	0	0	0	0
関係市町の役割分担	津山市：環境イベントへの出展等を企画・実施するとともに、啓発活動に中心となって取り組む。 鏡野町、勝央町、奈義町、久米南町、美咲町：環境イベントへの参画や啓発活動に連携して取り組む。					
活用を想定する補助制度等						

K P I : 1 市 5 町で連携してイベントへの参加

0 回 (平成 27 年度) → 1 回 (令和 3 年度)

(2) 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野


ア 地域公共交通

①圏域公共交通ネットワークの充実

《形成協定の内容》

取組内容	お互いの地域に移動しやすい交通網の確保と、公共交通の利用促進や利便性の向上を図るため、利用者の移動動態等の調査・検証や各種公共交通施策についての検討を行い、利用者ニーズに即した地域間のネットワーク強化に取り組む。
------	--

【具体的な取組内容】

事業名	公共交通連携事業					
関係市町	津山市、鏡野町、勝央町、奈義町、久米南町、美咲町					
事業内容	路線バスやＪＲなどの公共交通について、利便性向上や利用促進を圏域で一体的に進めるため、（仮称）圏域公共交通連絡協議会を設置し、利用者ニーズに即した各種公共交通施策の調査検討を行い、広域的な公共交通の再構築に取り組む。					
事業効果	各市町での問題点や課題を共有し、広域的な視点で解決に取り組み、交通再編や利用促進事業を行うことにより、効率的な事業推進を図ることができる。					
事業計画	平成 29 年度より事業実施。	H29 年度	H30 年度	H31 年度	R2 年度	R3 年度
						
概算事業費 （千円）	H29 年度	H30 年度	H31 年度	R2 年度	R3 年度	計
	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	5,000
関係市町の役割分担	津山市：協議会を統括し、調査研究、事業実施を行う。 鏡野町、勝央町、奈義町、久米南町、美咲町：協議会へ参画し、連携協力して調査研究、事業実施に取り組む。					
活用を想定する補助制度等						

事業名	公共交通確保事業（2種免許取得支援補助）					
関係市町	津山市、鏡野町、勝央町、奈義町、久米南町、美咲町					
事業内容	地域の公共交通を担っている事業者において、運転手の高齢化と人材確保が喫緊の課題となっていることから、運転手確保のため、2種免許取得のための支援制度を創設し、公共交通事業の確保を図る。					
事業効果	圏域の共通課題となっている公共交通における運転手の高齢化、運転手雇用の確保を支援し、持続的な公共交通体制の構築が見込まれる。					
事業計画	平成30年度から制度開始予定。	H29年度	H30年度	H31年度	R2年度	R3年度
概算事業費 (千円)	H29年度	H30年度	H31年度	R2年度	R3年度	計
	0	0	881	737	—	1,618
関係市町の役割分担	津山市：制度創設及び事業実施に中心となって取り組む。 鏡野町、勝央町、奈義町、久米南町、美咲町：制度創設及び事業実施に連携して取り組む。					
活用を想定する補助制度等						

事業名	津山・鏡野間バス連携事業					
関係市町	津山市、鏡野町					
事業内容	津山・鏡野間の路線バスの動態ニーズ調査を実施し、地域に即したバス路線体制を検討する。さらに、津山・鏡野における拠点施設や観光施設などを公共交通で結び、住民の利便性向上や交流人口の増加を図る。					
事業効果	住民の利便性向上と観光振興や定住促進が期待される。					
事業計画	平成29年度より事業実施。	H29年度	H30年度	H31年度	R2年度	R3年度
概算事業費 (千円)	H29年度	H30年度	H31年度	R2年度	R3年度	計
	5,000	2,474	2,462	0	0	9,936
関係市町の役割分担	津山市：ニーズ調査の実施及び運行体制構築に中心となって取り組む。 鏡野町：ニーズ調査の実施及び運行体制構築に連携協力して取り組む。					
活用を想定する補助制度等						

K P I：圏域内地域公共交通機関年間利用者数

1,226千人（平成27年度）→1,250千人（令和3年度）

イ 道路等の交通インフラ


①圏域をつなぐ道路ネットワークの形成


《形成協定の内容》


取組内容	圏域住民の利便性向上や物流の機能性向上のため、地域高規格道路の要望活動並びに整備促進及び圏域をつなぐ道路ネットワークの充実に取り組む。
------	---

【具体的な取組内容】

事業名	圏域内幹線道路整備事業					
関係市町	津山市、久米南町、美咲町					
事業内容	圏域を結ぶ幹線道路ネットワークや救急医療施設等へのアクセス道路の整備、要望活動に連携して取り組む。 《整備路線》 (都)河辺高野山西線、(都)総社川崎線、(都)平福横山線					
事業効果	交通インフラの充実ににより、圏域住民の暮らしやすさの向上、経済活動の促進が図られる。					
事業計画	継続して事業を実施する。	H29 年度	H30 年度	H31 年度	R2 年度	R3 年度
概算事業費 (千円)	H29 年度	H30 年度	H31 年度	R2 年度	R3 年度	計
	262,745	577,615	515,815	115,822	575,152	2,047,149
関係市町の役割分担	津山市：関係機関への要望活動を中心となって行うとともに、市内幹線道路の整備を行う。 久米南町、美咲町：関係機関への要望活動に連携して取り組むとともに、町内の幹線道路の整備を行う。					
活用を想定する補助制度等	防災・安全交付金					

事業名	市町道整備事業					
関係市町	津山市、勝央町、美咲町					
事業内容	圏域間を結ぶ市道、町道、農道や林道の整備に連携して取り組み、道路ネットワークの強化を図る。					
事業効果	交通環境の充実により、圏域住民の暮らしやすさの向上、経済活動の促進が図られる。					
事業計画	平成 29 年度より整備内容を検討し、平成 30 年度より整備を行う。	H29 年度	H30 年度	H31 年度	R2 年度	R3 年度
						
概算事業費 (千円)	H29 年度	H30 年度	H31 年度	R2 年度	R3 年度	計
	0	10,000	10,000	0	10,000	30,000
関係市町の役割分担	津山市：国の支援メニューの活用を想定した整備計画等を作成し、道路整備を実施する。 勝央町、美咲町：整備計画の策定を補助し、町内の道路整備を実施する。					
活用を想定する補助制度等						

事業名	津山駅周辺整備事業					
関係市町	津山市、鏡野町、勝央町、奈義町、久米南町、美咲町					
事業内容	津山圏域の拠点駅である津山駅の周辺整備を進め、交通結節点機能の強化、利便性や快適性の向上、駅舎のバリアフリー化等に取り組む。					
事業効果	津山駅周辺の機能強化や利便性向上等により、津山圏域をはじめ、広域な人の移動や交流促進、生活機能の向上が図られる。					
事業計画	令和2年度までに周辺整備及び駅舎のバリアフリー化を行う。	H29年度	H30年度	H31年度	R2年度	R3年度
						
概算事業費 (千円)	H29年度	H30年度	H31年度	R2年度	R3年度	計
	92,508	15,068	20,000	19,000	160,000	306,576
関係市町の役割分担	津山市：津山駅周辺整備事業の実施及びJR津山駅舎のバリアフリー化への整備費負担を行うとともに、駅周辺及び公共交通機関の利用促進に努める。 鏡野町、勝央町、奈義町、久米南町、美咲町：駅周辺及び公共交通機関の利用促進に努める。					
活用を想定する補助制度等		社会資本総合整備交付金				

事業名	地域高規格道路「空港津山道路」整備促進事業					
関係市町	津山市、鏡野町、勝央町、奈義町、久米南町、美咲町					
事業内容	津山圏域と岡山空港や県南地域を結ぶ、暮らしや経済活動に不可欠な地域高規格道路「空港津山道路」の早期整備の実現に連携して取り組む。					
事業効果	地域高規格道路「空港津山道路」の整備促進を図ることで、圏域の暮らしやすさの向上や経済活動の活性化につながる。					
事業計画	継続して事業を実施する。	H29 年度	H30 年度	H31 年度	R2 年度	R3 年度
						
概算事業費 (千円)	H29 年度	H30 年度	H31 年度	R2 年度	R3 年度	計
	16,015	26,515	31,515	12,810	18,015	104,870
関係市町の役割分担		<p>津山市：早期整備に向けて中心となって提言・要望並びに支援・協力を行う。</p> <p>鏡野町、勝央町、奈義町、久米南町、美咲町：早期整備に向けて提言・要望並びに支援・協力を行う。</p>				
活用を想定する補助制度等						

K P I : ・都市計画道路の整備率 66.4% (平成 27 年度) →69.3% (令和 3 年度)
・駅利用者の満足度を高める (5 段階評価) 3.0 (平成 27 年度) →4.0 (平成 31 年度)

ウ 地域内外の住民との交流・移住促進


①圏域内への移住定住の促進


《形成協定の内容》

取組内容	圏域への移住定住人口の増加を図るため、人口減少を可能な限り抑制するための施策に連携して取り組む。
------	--

【具体的な取組内容】

事業名	移住定住情報発信事業					
関係市町	津山市、鏡野町、勝央町、奈義町、久米南町、美咲町					
事業内容	津山圏域の魅力が感じられる移住定住パンフレットを作成し、PR・情報発信を行うとともに、各市町のホームページや定住ポータルサイトの移住情報等の連携を行い、圏域への移住・定住の促進を図る。					
事業効果	津山圏域の魅力をまとめた情報を発信することで、より効果的に圏域全体の住みやすさ等をPRできる。					
事業計画	平成 29 年度より事業実施。	H29 年度	H30 年度	H31 年度	R2 年度	R3 年度
概算事業費 (千円)	H29 年度	H30 年度	H31 年度	R2 年度	R3 年度	計
	1,719	188	90	90	90	2,177
関係市町の役割分担	津山市：パンフレットを作成する事務補助及び移住関連情報の提供。 鏡野町、勝央町、奈義町、久米南町、美咲町：パンフレットを作成事務補助及び移住関連情報の提供。					
活用を想定する補助制度等						

事業名	「移住・定住相談会」開催事業					
関係市町	津山市、鏡野町、勝央町、奈義町、久米南町、美咲町					
事業内容	津山圏域に特化した「移住・定住相談会」を開催し、圏域の魅力や移住・定住に関する効果的な情報発信・PRを行い、より多くの移住・定住者の促進を図る。					
事業効果	圏域に特化した「移住・定住相談会」を開催することで、圏域の魅力をより強く発信できる。また、移住希望者の多様なニーズに応じた選択肢の提供が可能となり、津山圏域への移住・定住への足掛かりとなる。					
事業計画	平成 29 年度より事業実施。	H29 年度	H30 年度	H31 年度	R2 年度	R3 年度
						
概算事業費 (千円)	H29 年度	H30 年度	H31 年度	R2 年度	R3 年度	計
	917	2,317	2,399	2,335	2,335	10,248
関係市町の役割分担	津山市：事務局として相談会の実施・運営・広報及び移住希望者等への周知を行う。 鏡野町、勝央町、奈義町、久米南町、美咲町：移住希望者等への周知及び相談会の実施・運営協力を行う。					
活用を想定する補助制度等						

事業名	移住体験ツアー事業					
関係市町	津山市、鏡野町、勝央町、奈義町、久米南町、美咲町					
事業内容	「移住・定住相談会」と合わせて移住体験ツアーを実施し、圏域への移住・定住促進を図る。					
事業効果	移住相談会とあわせてツアーを開催することや、一度に複数の自治体を見ていただくことで、移住希望者にあった移住先を見つけやすくなり、圏域への移住促進が図られる。					
事業計画	平成 29 年度より事業実施。	H29 年度	H30 年度	H31 年度	R2 年度	R3 年度
						
概算事業費 (千円)	H29 年度	H30 年度	H31 年度	R2 年度	R3 年度	計
	1,165	1,111	1,219	1,165	1,165	5,825
関係市町の役割分担	津山市：ツアー実施のための企画、運営、調整、広報等を行う。 鏡野町、勝央町、奈義町、久米南町、美咲町：ツアー実施の企画、運営、調整、広報等への協力を行う。					
活用を想定する補助制度等						

事業名	結婚支援事業					
関係市町	津山市、鏡野町、勝央町、奈義町、久米南町、美咲町					
事業内容	津山圏域における結婚の希望をかなえるため、セミナーの交流やイベント、サポーター支援、情報発信等に連携して取り組む。					
事業効果	津山圏域における結婚の希望をかなえるための支援に連携して取り組むことにより、スケールメリットと効果的な事業展開が図られる。					
事業計画	平成 30 年度より事業実施。	H29 年度	H30 年度	H31 年度	R2 年度	R3 年度
概算事業費 (千円)	H29 年度	H30 年度	H31 年度	R2 年度	R3 年度	計
		1,130	1,437	1,437	1,437	5,441
関係市町の役割分担	<p>津山市：結婚支援事業の企画、運営、広報等に連携して取り組むとともに、参画自治体間の全体調整を行う。</p> <p>鏡野町、勝央町、奈義町、久米南町、美咲町：結婚支援事業の企画、運営、広報等に連携して取り組む。</p>					
活用を想定する補助制度等						

K P I : ・ 県外からの移住者数 196 人（平成 27 年度）→1,250 人（平成 29 年度～令和 3 年度延べ人数）

- ・ 移住相談件数 1,154 件（平成 27 年度）→6,200 件（平成 29 年度～令和 3 年度延べ件数）
- ・ 移住相談会や移住体験ツアー参加による移住決定者数 31 人（平成 27 年度）→250 人（平成 29 年度～令和 3 年度延べ人数）
- ・ カップル成立数 64 組（4 年間累計）


エ その他

①オープンデータ化の推進

《形成協定の内容》

取組内容	電子自治体の推進を図るため、圏域自治体が有する様々な情報のオープンデータ化を推進するとともに、利活用の研究に取り組む。
------	---

【具体的な取組内容】

事業名	オープンデータ公開事業					
関係市町	津山市、鏡野町、勝央町、奈義町、久米南町、美咲町					
事業内容	圏域自治体が保有する公共データを共通のルールに基づき、二次利用可能なオープンデータとして公開し、利活用の促進を図る。					
事業効果	オープンデータ化により、住民や企業の利活用を促進することで、行政の透明性や効率化、情報通信分野などへの波及が期待される。					
事業計画	平成 29 年度より事業実施。	H29 年度	H30 年度	H31 年度	R2 年度	R3 年度
						
概算事業費 (千円)	H29 年度	H30 年度	H31 年度	R2 年度	R3 年度	計
	80	80	366	365	365	1,256
関係市町の役割分担	津山市：オープンデータ公開に中心となって取り組む。 鏡野町、勝央町、奈義町、久米南町、美咲町：オープンデータ公開に連携して取り組む。					
活用を想定する補助制度等						

K P I : ・ オープンデータのセット数 0 件 (平成 27 年度) → 200 件 (令和 3 年度)
 ・ オープンデータを利用したアプリケーション数
 0 件 (平成 27 年度) → 10 件 (令和 3 年度)

(3) 圏域マネジメント能力の効果に係る政策分野


ア 職員等の交流

①市町職員研修の共同実施

《形成協定の内容》

取組内容	圏域内市町職員の資質向上及び職員間のネットワークの拡大を図るため、合同研修等を行う。
------	--

【具体的な取組内容】

事業名	圏域内市町職員合同研修等による人材育成と交流					
関係市町	津山市、鏡野町、勝央町、奈義町、久米南町、美咲町					
事業内容	圏域内市町の間で職員研修等による交流を行い、資質向上や育成、スキルアップを図るとともに、市町間でのネットワークの拡大を図る。					
事業効果	職員の資質向上と市町職員間のネットワークの拡大が見込まれる。					
事業計画	平成 29 年度から事業実施。	H29 年度	H30 年度	H31 年度	R2 年度	R3 年度
						
概算事業費 (千円)	H29 年度	H30 年度	H31 年度	R2 年度	R3 年度	計
	0	0	0	0	0	0
関係市町の役割分担	全市町：職員研修による交流について、協議が整ったものから実施する。					
活用を想定する補助制度等						

K P I : 各市町年 1 講座以上、職員相互参加研修を開催する。